

日本語 HP DECwindows Motif for OpenVMS

インストール・ガイド

2005 年 2 月

本書は、日本語 OpenVMS オペレーティング・システムに日本語 DECwindows Motif をインストールする方法を説明したものです。

改訂情報: 本書は改訂版です。

オペレーティング・システム: 日本語 HP OpenVMS I64 V8.2
日本語 HP OpenVMS Alpha V8.2

ソフトウェア・バージョン: 国際化 HP DECwindows Motif for OpenVMS
I64, V1.5
日本語 HP DECwindows Motif for OpenVMS
I64, V1.5

国際化 HP DECwindows Motif for OpenVMS
Alpha, V1.5
日本語 HP DECwindows Motif for OpenVMS
Alpha, V1.5

日本ヒューレット・パカード株式会社

2005 年 2 月

本書の著作権は Hewlett-Packard Development Company, L.P. が保有しており、本書中の解説および図、表は Hewlett-Packard Development Company, L.P. の文書による許可なしに、その全体または一部を、いかなる場合にも再版あるいは複製することを禁じます。

また、本書に記載されている事項は、予告なく変更されることがありますので、あらかじめご承知おきください。万一、本書の記述に誤りがあった場合でも、日本ヒューレット・パッカーカードは一切その責任を負いかねます。

本書で解説するソフトウェア (対象ソフトウェア) は、所定のライセンス契約が締結された場合に限り、その使用あるいは複製が許可されます。

© 2005 Hewlett-Packard Development Company, L.P.

Motif、OSF/1 および UNIX は The Open Group の商標です。

本書に記載のあるその他すべての製品名は、それぞれの会社の商標または登録商標です。

本書は、日本語 VAX DOCUMENT V 2.1 を用いて作成しています。

目次

| | |
|------------------------------------|-----|
| まえがき | ix |
| 第 1 部 日本語 DECwindows Motif のインストール | |
| 1 インストールの準備 | |
| 1.1 リリース・ノートについて | 1-1 |
| 1.2 必要なライセンス | 1-1 |
| 1.2.1 I64 版のライセンスについて | 1-2 |
| 1.2.2 Alpha 版のライセンス登録 | 1-2 |
| 1.3 必須ソフトウェア | 1-3 |
| 1.4 インストール・プロシージャに必要な条件 | 1-3 |
| 1.4.1 特権 | 1-4 |
| 1.4.2 システム・パラメータ | 1-4 |
| 1.4.3 プロセス・アカウントのクォータ | 1-5 |
| 1.4.4 ディスク・スペース | 1-5 |
| 1.4.5 システム・ディスクのバックアップ | 1-5 |
| 1.5 オプションのインストール | 1-6 |
| 1.6 以前のバージョンからアップデートする場合のインストール手順 | 1-7 |
| 2 日本語 DECwindows Motif のインストール | |
| 2.1 ソフトウェア・キット | 2-1 |
| 2.2 国際化キットのインストール | 2-2 |
| 2.3 日本語キットのインストール | 2-4 |

| | | |
|----------------------------------|---|------|
| 3 | インストール後の作業 | |
| 3.1 | DECwindows Motif ソフトウェアの再起動 | 3-1 |
| 3.2 | インストール検証プロシージャ (IVP) の実行 | 3-1 |
| 3.3 | キーボードの省略時の設定 | 3-2 |
| 4 | インストール / アンインストール実行例 | |
| 4.1 | インストール実行例 | 4-1 |
| 4.1.1 | 国際化 DECwindows Motif V1.5 のインストール | 4-1 |
| 4.1.2 | 日本語 DECwindows Motif V1.5 のインストール | 4-2 |
| 4.2 | アンインストールの実行例 | 4-4 |
| 4.2.1 | 日本語 DECwindows Motif V1.5 のアンインストール | 4-4 |
| 4.2.2 | 国際化 DECwinndows Motif V1.5 のアンインストール | 4-5 |
| 5 | エラーからの回復 | |
| 5.1 | 日本語 DECwindows Motif のインストール・エラー | 5-1 |
| 第2部 標準版 DECwindows Motif のインストール | | |
| 6 | インストールの準備 | |
| 6.1 | 必要なハードウェアとメモリ | 6-2 |
| 6.2 | 必要なオペレーティング・システム・ソフトウェア | 6-2 |
| 6.3 | 必要なライセンス | 6-3 |
| 6.3.1 | OpenVMS Alpha システムでのライセンス | 6-4 |
| 6.3.2 | OpenVMS I64 システムでのライセンス | 6-5 |
| 6.4 | OSF/Motif Release 1.1.3 および XUI プログラミング・ファイルの保管 | 6-5 |
| 6.5 | 設定したブックリーダー・ファイルの保管 | 6-6 |
| 6.6 | インストール・プロシージャの実行に必要な前提条件 | 6-7 |
| 6.6.1 | プロセス・アカウントのクォータ | 6-8 |
| 6.6.2 | ディスク容量 | 6-9 |
| 6.6.3 | システム・パラメータ | 6-12 |
| 6.6.4 | システム・ディスクのバックアップ | 6-14 |

| | | |
|----------|---|------|
| 6.6.5 | 他のユーザへの通知 | 6-15 |
| 7 | POLYCENTER ソフトウェア・インストール・ユーティリティの使用法 | |
| 7.1 | ヘルプ情報の参照 | 7-2 |
| 7.2 | 製品のリリース・ノートの取り出しと印刷 | 7-3 |
| 7.3 | DECwindows Motif のインストール | 7-4 |
| 7.3.1 | インストールの開始 | 7-4 |
| 7.3.2 | インストール・ダイアログ | 7-5 |
| 7.3.2.1 | プログラミング環境の保存 (Alpha のみ) | 7-6 |
| 7.3.2.2 | デフォルト・インストール | 7-7 |
| 7.3.2.3 | LBX プロキシのインストール | 7-7 |
| 7.3.2.4 | クライアント・ソフトウェアのインストールの選択 | 7-7 |
| 7.3.2.5 | デスクトップの選択についての質問 | 7-8 |
| 7.3.2.6 | プログラミング言語サポート・オプション | 7-9 |
| 7.3.2.7 | 変換イメージのサポート (Alpha のみ) | 7-10 |
| 7.3.2.8 | 言語バリエーションについての注意 | 7-10 |
| 7.3.2.9 | インストール・オプションの確認 | 7-11 |
| 7.3.2.10 | 実行ダイアログ | 7-12 |
| 7.3.2.11 | DECwindows Motif サポート・ファイルの確認 | 7-12 |
| 7.3.2.12 | インストールの最終メッセージの確認 | 7-14 |
| 7.4 | エラーからの回復 | 7-14 |
| 7.5 | インストール後のパラメータの調整 | 7-15 |
| 8 | ソフトウェア・インストール完了後の作業 | |
| 8.1 | DECwindows Motif ソフトウェアの起動 | 8-1 |
| 8.2 | IVP の実行 | 8-2 |
| 8.2.1 | プロシージャの実行 | 8-2 |
| 8.2.2 | 表示関連テスト | 8-2 |
| 8.2.3 | LBX プロキシ・テスト | 8-4 |
| 8.2.4 | 表示関連以外のテスト | 8-6 |
| 8.3 | コンソールの選択 | 8-7 |
| 8.3.1 | OpenVMS Alpha システムの場合 | 8-7 |
| 8.3.2 | OpenVMS I64 システムの場合 | 8-7 |
| 8.4 | デスクトップの選択 | 8-8 |
| 8.5 | システムの保守 | 8-9 |

| | | |
|---|---|------|
| 8.5.1 | SYSGEN によるシステム・パラメータ値のチェック | 8-9 |
| 8.5.2 | 未使用のグローバル・ページとグローバル・セクションの計算 | 8-10 |
| 8.5.3 | ページ・ファイ・サイズの設定 | 8-10 |
| 8.5.4 | AUTOGEN ユーティリティによるシステム・パラメータの変更 | 8-11 |
| 9 DECwindows Motif ソフトウェアの管理 | | |
| 9.1 | DECwindows X11 ディスプレイ・サーバのスタートアップ・プロシージャのカスタマイズ | 9-1 |
| 9.2 | DECwindows ベース・サポート・ファイルの追加 | 9-2 |
| 9.3 | 問題の確認と報告 | 9-2 |
| A POLYCENTER ソフトウェア・インストレーション・ユーティリティを使用したインストレーション実行例 | | |
| A.1 | OpenVMS I64 システムにおける実行例 | A-1 |
| A.2 | OpenVMS Alpha システムに置く実行例 | A-4 |
| B ソフトウェア・コンポーネントとバージョンの確認 | | |
| B.1 | インストールされているコンポーネントの一覧 | B-1 |
| B.2 | インストール済みイメージのバージョンの確認 | B-2 |

索引

例

| | | |
|-----|---|-----|
| A-1 | Version 8.2 システムにおける DECwindows Motif のインストレーション実行例 | A-2 |
| A-2 | OpenVMS Alpha Version 8.2 システムにおける DECwindows Motif のアップグレード実行例 | A-5 |

表

| | | |
|-----|--|------|
| 1-1 | 必須ソフトウェア..... | 1-3 |
| 1-2 | 国際化 DECwindows Motif および日本語 DECwindows Motif のインストールに必要となるディスク・スペース..... | 1-5 |
| 6-1 | DECwindows Motif サポート・オプション..... | 6-3 |
| 6-2 | 旧バージョンの XUI または Motif プログラミング環境用ディレクトリ..... | 6-5 |
| 6-3 | インストールするアカウントのプロセス・クォータ..... | 6-8 |
| 6-4 | OpenVMS I64 システムに必要なディスク容量 (ブロック数)..... | 6-10 |
| 6-5 | OpenVMS Alpha システムに必要なディスク容量 (ブロック数)..... | 6-11 |
| 6-6 | OpenVMS I64 システムにおけるシステム・パラメータの最小値..... | 6-12 |
| 6-7 | OpenVMS Alpha システムにおけるシステム・パラメータの最小値..... | 6-13 |

まえがき

本書では、日本語 OpenVMS オペレーティング・システムが稼動しているシステムに、国際化 HP DECwindows Motif for OpenVMS V1.5 および日本語 HP DECwindows Motif for OpenVMS V1.5 をインストールする方法について説明しています。

本書の構成

本書の構成は以下のとおりです。

第 1 部、日本語 DECwindows Motif のインストール

- 第 1 章、日本語 DECwindows Motif をインストールする前の準備作業について説明しています。
- 第 2 章、日本語 DECwindows Motif (国際化キットおよび日本語キット) のインストールについて説明しています。
- 第 3 章、日本語 DECwindows Motif のインストール後の作業について説明しています。
- 第 4 章、インストールの実行例を紹介しています。
- 第 5 章、エラーが発生した場合の対応方法について説明しています。

第 2 部、標準版 DECwindows Motif のインストール

- 第 6 章、標準版 DECwindows Motif をインストールする前の準備作業について説明しています。
- 第 7 章、POLYCENTER Software Installation ユーティリティの使用方法について説明しています。

- 第 8 章，インストール後の作業について説明しています。IVP (Installation Verification Procedure) についても説明しています。
- 第 9 章，環境のカスタマイズおよび問題の報告について説明しています。
- 付録 A，POLYCENTER Software Installation (PCSI) ユーティリティによるインストール実行例を示します。
- 付録 B，DECwindows Motif ソフトウェア・コンポーネントの一覧とシステムにインストールされたイメージのバージョンの確認方法を示します。

関連ドキュメント

本書に加えて，必要に応じて以下のドキュメントを参照してください。

- 『日本語 HP DECwindows Motif for OpenVMS V1.5 ソフトウェア仕様書』
- 『日本語 HP DECwindows Motif for OpenVMS リリース・ノート』
- 『HP DECwindows Motif for OpenVMS New Features』
- 『日本語 DECwindows Motif for OpenVMS 環境設定の手引き』
- 『OpenVMS システム管理者マニュアル』
- 『OpenVMS システム管理ユーティリティ・リファレンス・マニュアル』

表記法

本書では次の表記法を使用しています。

| 表記法 | 意味 |
|---------------|--|
| [YES] [NO] | システムからの問い合わせに対する省略時の応答は，大括弧で示されます。 <code>[Return]</code> キーだけを押した場合は，省略時の応答を選択することになります。 |
| UPPERCASE | 英大文字のテキストは，コマンド，ファイル，パラメータ，プロシージャを示します。 |

| 表記法 | 意味 |
|---------------------------|---|
| \$ @SYS\$UPDATE:VMSINSTAL | システムとの会話型の表示例では、システムからのプロンプトおよびテキストはモノスペース・タイプの文字で示します。ユーザによる入力例は太字で示します。 |
| \$ | ドル記号はDCL プロンプトを示します。システムによっては異なる記号である場合があります。 |
| Ctrl/x | Ctrl/x という表記は、Ctrl キーを押しながら別のキーまたはボイティング・デバイス・ボタンを押すことを示します。 |

第1部

日本語DECwindows Motifのインストール

第1部では、日本語DECwindows Motifの国際化キットおよび日本語キットのインストールについて説明します。

国際化キットおよび日本語キットをインストールする前に、標準版DECwindows Motifのキットをインストールする必要があります。標準版DECwindows Motifのインストールについては、第2部を参照してください。

なお、DECwindows MotifをOpenVMSオペレーティング・システムと同時にインストールする場合は、『日本語OpenVMS V8.2インストール・ガイド』を参照してください。

インストールの準備

この章では、日本語 DECwindows Motif のインストールを実行する前に理解しておくべき内容について説明します。

1.1 リリース・ノートについて

日本語 DECwindows Motif をインストールすると、次の場所にリリースノートがコピーされます。日本語 DECwindows Motif をご使用になる前に、リリースノートに記述されている注意事項を確認しておいてください。

```
SYS$HELP:DWM_JA_JP_15.RELEASE_NOTES
```

また、次のコマンドを実行して、キットからリリースノートを抽出することもできます。

```
$ PRODUCT EXTRACT RELEASE_NOTES JDECW /SOURCE = kit_location
```

ここで *kit_location* は、日本語 DECwindows Motif V1.5 for OpenVMS のキットが含まれているディレクトリ (デバイス名を含む) です。DKA0:[KIT] にキットが置かれている場合、次のように指定します。

```
$ PRODUCT EXTRACT RELEASE_NOTES JDECW /SOURCE = DKA0:[KIT]
```

1.2 必要なライセンス

この節では、日本語 DECwindows Motif のインストールおよび使用の際に必要なライセンスについて説明します。

1.2.1 I64 版のライセンスについて

日本語 DECwindows Motif for OpenVMS I64 に対しては、標準版 DECwindows Motif for OpenVMS I64 が含まれている OpenVMS I64 Operating Environment のライセンスが適用されます。日本語 DECwindows Motif for OpenVMS I64 をご使用になるにあたり、OpenVMS I64 Operating Environment のライセンス以外には特に必要ありません。

1.2.2 Alpha 版のライセンス登録

日本語 DECwindows Motif for OpenVMS Alpha の場合、ノードまたはクラスタ上に日本語 DECwindows Motif をインストールして起動する前に、ライセンス管理機能 (LMF) を使用して、プロダクト・オーソライゼーション・キー (ライセンス PAK) を登録しなければなりません。登録に必要な PAK 情報は、ソフトウェア使用許諾証書に記載されています。

すでにライセンスが登録されているシステムで日本語 DECwindows Motif をアップデートする場合は、あたらめてライセンス PAK を登録する必要はありません。

日本語 DECwindows Motif とともに必須ソフトウェアおよびオプション・ソフトウェアをインストールする場合は、日本語 DECwindows Motif をインストールする前にその必須ソフトウェアおよびオプション・ソフトウェアの PAK も登録しておかなければなりません。

なお日本語 DECwindows Motif のライセンス情報は、インストレーション検証プロシージャ (IVP) を起動してソフトウェアをご使用になる前に登録しておかなければなりません。

OpenVMS システムでライセンスを登録する場合は、システム管理者のアカウント (SYSTEM) でログインします。次のいずれかの方法でライセンスを登録してください。

- SYSSUPDATE:VMLICENSE.COM プロシージャを呼び出します。入力を求めるプロンプトが表示されたら、ライセンス PAK のデータを入力してください。

- DCL のプロンプトで、ライセンス PAK の情報に対応する修飾子を指定して、LICENSE REGISTER コマンドを入力してください。

VMS クラスタの複数ノードで日本語 DECwindows Motif を使用する場合は、各ノードでライセンスを登録してください。

PAK 情報の登録方法の詳細は、ソフトウェア利用許諾証書に付属の PAK インストール・ガイドを参照してください。ライセンス管理機能 (LMF) の使用についての詳細は、『VMS License Management Utility Manual』を参照してください。

1.3 必須ソフトウェア

日本語 DECwindows Motif のキットは、国際化 DECwindows Motif と日本語 DECwindows Motif の 2 つのキットで構成されています。

国際化 DECwindows Motif V1.5 および日本語 DECwindows Motif V1.5 をインストールする前にシステムに表 1-1 のソフトウェアをインストールしておく必要があります。

表 1-1 必須ソフトウェア

| 必須ソフトウェア | ソフトウェア・バージョン |
|----------------------------------|--------------|
| OpenVMS | V8.2 |
| 日本語 OpenVMS | V8.2 |
| 標準版 DECwindows Motif for OpenVMS | V1.5 |

1.4 インストール・プロシージャに必要な条件

この節では、日本語 DECwindows Motif をインストールする際に必要な条件 (プロセス・アカウント・クォータ, システム・パラメータ, ディスク・スペースなど) について説明します。

各種パラメータのチェックおよび設定の方法については、第 8 章で説明されています。

1.4.1 特権

日本語 DECwindows Motif をインストールする場合は、SETPRV 特権あるいは少なくとも次の特権を持つアカウントにログインする必要があります。

- CMKRNL
- WORLD
- SYSPRV

1.4.2 システム・パラメータ

日本語 DECwindows Motif のインストールの際には、システム・パラメータ値が一定の値以上に設定されていることが必要となります。

ただし、日本語 DECwindows Motif のインストレーションの前提条件となっている標準版 DECwindows Motif がすでにインストールされている場合は、システム・パラメータに通常問題はありませぬ。

標準版 DECwindows Motif V1.5 のインストレーションに必要なシステム・パラメータ値については、第 6.6.3 項を参照してください。

注意

システムに、インストレーションに必要な量のグローバル・ページおよびグローバル・セクションがあることを確認しない場合、DCL テーブルが壊れる可能性があります。

1.4.3 プロセス・アカウントのクォータ

インストール時には、インストール・プロシージャを実行するアカウントで一定のプロセス・クォータが必要になります。必要なプロセス・クォータ値については、第 6.6.1 項を参照してください。

1.4.4 ディスク・スペース

国際化 DECwindows Motif および日本語 DECwindows Motif のインストールに必要となる空きディスク・スペースを、表 1-2 に示します。

表 1-2 国際化 DECwindows Motif および日本語 DECwindows Motif のインストールに必要となるディスク・スペース

| キット | インストール前の必要ブロック数 |
|---------|-----------------|
| Alpha 版 | 270,000 |
| I64 版 | 270,000 |

上記の数値は、すべての製品コンポーネントをインストールする場合に使用される最低限必要なディスク・スペースを示しています。

システム・ディスクの空きブロック数を確認するには、DCL プロンプトで次のコマンドを入力してください。

```
$ SHOW DEVICE SYS$SYSDEVICE
```

1.4.5 システム・ディスクのバックアップ

インストールの開始時に、システム・ディスクのバックアップを行ったかどうかを問い合わせます。ソフトウェアをインストールする場合は、その前にシステム・ディスクのバックアップを行うことを推奨します。

通常の手順でバックアップを行ってください。システム・ディスクのバックアップの実行手順についての詳細は、『OpenVMS システム管理者マニュアル』のシステム・ディスクのバックアップの項を参照してください。

1.5 オプションのインストール

日本語 DECwindows Motif では、次のコンポーネントがオプションとして提供されます。

日本語キーマップ (Japanese Keymaps)
日本語 75dpi フォント (75dpi Japanese Font)
日本語 100dpi フォント (100dpi Japanese Font)

日本語 OpenVMS オペレーティング・システムのインストール時にすでにこれらのコンポーネントがインストールされている場合は、オプションのインストールは不要です。そうでない場合、あるいは不明の場合はすべてのオプションをインストールしてください。また、以前のバージョンの日本語 DECwindows Motif を削除して日本語 DECwindows Motif V1.5 をインストールする場合も、すべてのオプションをインストールしてください。

オプション・コンポーネントのファイルは次のとおりです。

- 日本語キーマップ

```
SYS$COMMON:[SYS$KEYMAP.DECW.SYSTEM]JAPANESE_*.*
```

- 日本語 75dpi フォント

```
SYS$COMMON:[SYSFONT.DECW.75DPI]JDECW_GOTHIC_*. *  
SYS$COMMON:[SYSFONT.DECW.75DPI]JDECW_KMENU_*. *  
SYS$COMMON:[SYSFONT.DECW.75DPI]JDECW_MINCHO_*. *  
SYS$COMMON:[SYSFONT.DECW.75DPI]JDECW_SCREEN_*. *
```

- 日本語 100dpi フォント

```
SYS$COMMON:[SYSFONT.DECW.100DPI]JDECW_GOTHIC_*. *  
SYS$COMMON:[SYSFONT.DECW.100DPI]JDECW_MINCHO_*. *
```

1.6 以前のバージョンからアップデートする場合のインストール手順

すでに以前のバージョンの日本語 DECwindows Motif をお使いで、オペレーティング・システムのアップグレードと合わせて日本語 DECwindows Motif V1.5 へアップデートする場合は、事前に日本語 DECwindows Motif をシステムから削除しておく必要があります。

日本語 OpenVMS のインストールと同時に日本語 DECwindows Motif のインストールを行う場合のインストール手順については、『日本語 OpenVMS V8.2 インストール・ガイド』を参照してください。

日本語 DECwindows Motif のインストール

この章では、日本語 DECwindows Motif のインストール方法について説明します。

なお、インストール時にエラーが発生した場合は第 5 章を参照してください。

2.1 ソフトウェア・キット

日本語 DECwindows Motif for OpenVMS は、次の 2 つのキットで構成されています。

- 国際化キット
各国語サポートに共通のソフトウェア・コンポーネントが含まれています。
- 日本語キット
日本語サポート固有のソフトウェア・コンポーネントが含まれています。

日本語 DECwindows Motif V1.5 の環境を作るには、標準版 DECwindows Motif V1.5 がインストールされているシステムに対して、国際化キット、日本語キットの順でインストールを行います。標準版 DECwindows Motif のインストールは、OpenVMS オペレーティング・システムのインストール中に同時に行うことができます。標準版 DECwindows Motif を単独でインストールする方法については、第 2 部を参照してください。

日本語 DECwindows Motif V1.5 for OpenVMS の国際化キットおよび日本語キットは、以下のメディアで提供されています。

| プラットフォーム | 提供メディア |
|-----------|--|
| Alpha 版 : | 日本語 OpenVMS Alpha オペレーティング・システム CD-ROM または OpenVMS Alpha Software Product Library CD-ROM |
| I64 版 : | OpenVMS I64 Operating Environment Update DVD |

日本語 DECwindows Motif V1.5 のキットは、OpenVMS が提供する PCSI ユーティリティ (POLYCENTER ソフトウェア・インストール・ユーティリティ) で処理可能な PCSI 形式で提供されています。キット名は以下のとおりです。

| 内容 | キット名 |
|---------------|---|
| I64 版国際化キット | HP-I64VMS-DWMOTIF_I18N-V0105--1.PCSI\$COMPRESSED |
| I64 版日本語キット | HP-I64VMS-JDECW-V0105--1.PCSI\$COMPRESSED |
| Alpha 版国際化キット | DEC-AXPVMS-DWMOTIF_I18N-V0105--1.PCSI\$COMPRESSED |
| Alpha 版日本語キット | DEC-AXPVMS-JDECW-V0105--1.PCSI\$COMPRESSED |

2.2 国際化キットのインストール

ここでは、国際化 DECwindows Motif V1.5 のインストール方法について説明します。

なお、インストール実行時にユーザの入力が必要な場合にはシステム・プロンプトが表示されますが、省略時の応答が大括弧 ([]) で囲まれて表示されます。省略時の応答をそのまま適用する場合は、リターン・キーを押してください。

1. 特権付きアカウントにログインします。

```
Username: SYSTEM
Password:
```

2. POLYCENTER ソフトウェア・インストール・ユーティリティ (PCSI) を起動します。コマンドは次のとおりです。

```
$ PRODUCT INSTALL product_name /SOURCE=kit_location
```

コマンド以下の要素は次のように定義されます。

product_name

プロダクト名です。キット名ではありません。

国際化キットの場合、次のプロダクト名を使用します。

DWMOTIF_I18N

kit_location

日本語 DECwindows Motif の国際化キットを含むディレクトリ (装置名を含む) を指定します。

日本語 DECwindows Motif V1.5 の国際化キットは、配布メディアの下記のディレクトリに含まれています。

- I64 版 : [JDECWI64015.KIT]
- Alpha 版 : [JDECWAXP015.KIT]

たとえば、日本語 OpenVMS Alpha オペレーティング・システムの CD-ROM が DKA400 にマウントされている場合、*kit_location*は

```
DKA400:[JDECWAXP015.KIT]
```

となります。この場合の PRODUCT コマンド全体の指定は、次のとおりです。

```
$ PRODUCT INSTALL DWMOTIF_I18N /SOURCE=DKA400:[JDECWAXP015.KIT]
```

PRODUCT コマンド起動後、次の問い合わせに対して Return キーを押して、インストールを開始してください。

```
The following product has been selected:  
DEC AXPVMS DWMOTIF_I18N V1.5          Layered Product
```

```
Do you want to continue? [YES]
```

3. インストールが実行されます。

実際にインストールが実行されます。

Execution phase starting ...

The following product will be installed to destination:

```
DEC AXPVMS DWMOTIF_I18N V1.5          DISK$1:[VMS$COMMON.]
```

Portion done: 0%...10%...20%...30%...40%...50%...60%...70%...80%...90%...100%

The following product has been installed:

DEC AXPVMS DWMOTIF_I18N V1.5 Layered Product

DEC AXPVMS DWMOTIF_I18N V1.5: DECwindows Motif/I18N

This product requires the following SYSGEN parameters:

GBLPAGES add 2830

This product requires the following SYSGEN parameters:

GBLSECTIONS add 10

Installation of DECwindows Motif/I18N for OpenVMS Alpha V1.5 completed.

You can install Locale Language Variant of DECwindows Motif.

これでインストールは完了しました。この後続いて日本語キットをインストールしてください。

2.3 日本語キットのインストール

次の手順に従って、日本語キットをインストールします。

1. 特権付きアカウントにログインします。

Username: **SYSTEM**

Password:

2. POLYCENTER ソフトウェア・インストール・ユーティリティ (PCSI) を起動します。コマンドは次のとおりです。

```
$ PRODUCT INSTALL product_name /SOURCE=kit_location
```

コマンド以下の要素は次のように定義されます。

product_name

プロダクト名です。キット名ではありません。

日本語キットの場合、次のプロダクト名を使用します。

JDECW

kit_location

日本語 DECwindows Motif のキットを含むディレクトリ (装置名を含む) を指定します。

日本語 DECwindows Motif V1.5 の日本語キットは、配布メディアの下記のディレクトリに含まれています。

- I64 版 : [JDECWI64015.KIT]
- Alpha 版 : [JDECWAXP015.KIT]

たとえば、日本語 OpenVMS Alpha オペレーティング・システムの CD-ROM が DKA400 にマウントされている場合、*product_location*は

```
DKA400:[JDECWAXP015.KIT]
```

となります。この場合の PRODUCT コマンド全体の指定は、次のとおりです。

```
$ PRODUCT INSTALL JDECW /SOURCE=DKA400:[JDECWAXP015.KIT]
```

PRODUCT コマンド起動後、次の問い合わせに対して Return キーを押して、インストールを開始してください。

```
The following product has been selected:  
DEC AXPVMS JDECW V1.5                      Layered Product
```

```
Do you want to continue? [YES]
```

3. インストールするオプションを選択します。

オプションについて PCSI から次のような問い合わせがあります。

```
Do you want the defaults for all options? [YES]
```

日本語 DECwindows Motif では、次のコンポーネントがオプションとしてインストールされます。

- 日本語キーマップ (Japanese Keymaps)
- 日本語 75dpi フォント (75dpi Japanese Font)
- 日本語 100dpi フォント (100dpi Japanese Font)

日本語 OpenVMS オペレーティング・システムのインストール時にすでにこれらのコンポーネントがインストールされている場合は、オプションのインストールは不要です。そうでない場合、あるいは不明の場合はすべてのオプションをインストールしてください。また、以前のバージョンの日本語 DECwindows Motif を削除して日本語 DECwindows Motif V1.5 をインストールする場合

も、すべてのオプションをインストールしてください。詳しくは第 1.5 節を参照してください。

すべてのオプションをインストールする場合、およびインストールしない場合の手順はそれぞれ次のとおりです。

- すべてのオプションをインストールする場合

最初の質問に YES を入力してデフォルトの動作を選択します。これによってすべてのオプションがインストールされます。

以下はすべてのオプションをインストールする場合の例です。この例では `Do you want to review the options?` という質問に `yes` を入力して、インストールされるオプションを確認しています。

```
Do you want the defaults for all options? [YES]
Do you want to review the options? [NO] yes
DEC AXPVMS JDECW V1.5: DECwindows Motif/Japanese
Do you need to install Japanese keymaps?: YES
Do you need to install 100dpi Japanese font?: YES
Do you need to install 75dpi Japanese font?: YES
Are you satisfied with these options? [YES]
```

- インストールしない場合

最初の質問に NO を入力します。すると各オプションについてインストールするかどうか聞いてくるので、すべて NO を入力します。

以下はオプションをインストールしない場合の例です。この例では `Do you want to review the options?` という質問に `yes` を入力して、インストールされるオプションを確認しています。

```
Do you want the defaults for all options? [YES] no
Do you need to install Japanese keymaps? [YES] no
Do you need to install 100dpi Japanese font? [YES] no
Do you need to install 75dpi Japanese font? [YES] no
Do you want to review the options? [NO] yes
```

```
DEC AXPVMS JDECW V1.5: DECwindows Motif/Japanese
  Do you need to install Japanese keymaps?: NO
  Do you need to install 100dpi Japanese font?: NO
  Do you need to install 75dpi Japanese font?: NO

Are you satisfied with these options? [YES]
```

4. インストールが実行されます。

実際にインストールが実行されます。

Execution phase starting ...

The following product will be installed to destination:

```
DEC AXPVMS JDECW V1.5          DISK$1:[VMS$COMMON.]
```

Portion done: 0%...10%...20%...30%...40%...50%...60%...70%...80%...90%...100

The following product has been installed:

```
DEC AXPVMS JDECW V1.5          Layered Product
```

DEC AXPVMS JDECW V1.5: DECwindows Motif/Japanese

This product requires the following SYSGEN parameters:

```
GBLPAGES add 13300
```

This product requires the following SYSGEN parameters:

```
GBLSECTIONS add 40
```

Installation Verification Procedure (IVP) can be run after reboot.

The IVP is SYS\$TEST:DECW\$IVP_JA_JP.COM.

Installation of DECwindows Motif/Japanese for OpenVMS Alpha completed.

Check whether this product have the following PAKs registerd and loaded.

```
PAK Name
DW-MOTIF
DW-MOTIF-UI-JAPANESE
```

These are required to run any DECwindows Motif/Japanese for OpenVMS application.

If your system is already running DECwindows Motif, restart DECwindows Motif with the following DCL command:

```
$ @SYS$MANAGER:DECW$STARTUP RESTART
```

If your system has not run DECwindows Motif yet, start DECwindows Motif with the following DCL command:

```
$ @SYS$MANAGER:DECW$STARTUP
```

これでインストレーションは完了しました。DECwindows Motif のインストレーション前のシステム構成に応じて、DECwindows を起動、または再起動する必要があることに注意してください。

インストール後の作業

日本語 DECwindows Motif をインストールした後、次の作業を行わなければなりません。

- DECwindows Motif ソフトウェアの再起動
- インストール検証プロシージャ (IVP) の実行

3.1 DECwindows Motif ソフトウェアの再起動

システムで DECwindows Motif をすでに起動している場合は、次の DCL コマンドを使用して DECwindows Motif を再起動します。

```
$ @SYS$MANAGER:DECW$STARTUP RESTART
```

システムでまだ DECwindows Motif を起動していない場合は、次の DCL コマンドを使用して DECwindows Motif を起動します。

```
$ @SYS$MANAGER:DECW$STARTUP
```

3.2 インストール検証プロシージャ (IVP) の実行

インストールが完了し、DECwindows Motif を再起動した場合は、インストール検証プロシージャ (IVP) を実行することを推奨します。次のコマンドを使用して、インストール検証プロシージャを実行します。

```
$ @SYS$COMMON:[SYSTEST]DECW$IVP_JA_JP.COM
```

3.3 キーボードの省略時の設定

ワークステーションで日本語キーボードを使用している場合は、キーボードの省略時の設定をすることができます。

まず、キーボードを裏返してモデル番号を確認してください。システムにインストールされているキーマップは、スタイル・マネージャのキーボード、もしくはセッション・マネージャのキーボード設定のダイアログ・ボックス内のキーボード・リストに表示されます。この中から適当なものを選択し、DECW\$DEFAULT_KEYBOARD_MAP に設定してください。

OpenVMS I64 システムで日本語 DECwindows Motif をお使いになる場合は、『日本語 DECwindows Motif リリース・ノート』の第 6 章の USB キーボードのサポートに関する項も参照してください。

インストール/アンインストール実行例

ここでは、インストールの実行例と旧バージョンを削除するアンインストールの例を紹介します。

4.1 インストール実行例

以下に、日本語 OpenVMS Version 8.2 システムに国際化 DECwindows Motif V1.5 および日本語 DECwindows Motif V1.5 をインストールする場合の実行例を紹介します。

インストールは、国際化 DECwindows Motif V1.5，日本語 DECwindows Motif V1.5 の順に行います。

この例では、DECnet がシャットダウンしていて、ユーザがログインしていないことを前提としています。

4.1.1 国際化 DECwindows Motif V1.5 のインストール

```
$ PRODUCT INSTALL DWMOTIF_I18N /source=DKA400:[JDECWAXP015.KIT]
```

```
The following product has been selected:
```

```
DEC AXPVMS DWMOTIF_I18N V1.5      Layered Product
```

```
Do you want to continue? [YES]
```

```
Configuration phase starting ...
```

```
You will be asked to choose options, if any, for each selected product and for any products that may be installed to satisfy software dependency requirements.
```

```
DEC AXPVMS DWMOTIF_I18N V1.5: DECwindows Motif/I18N
```

```

Copyright 2005 Hewlett-Packard Development Company, L.P.
Hewlett-Packard Company
* This product does not have any configuration options.
Execution phase starting ...
The following product will be installed to destination:
  DEC AXPVMS DWMOTIF_I18N V1.5      DISK$1:[VMS$COMMON.]

Portion done: 0%...10%...20%...30%...40%...50%...60%...70%...90%...100%
The following product has been installed:
  DEC AXPVMS DWMOTIF_I18N V1.5      Layered Product
DEC AXPVMS DWMOTIF_I18N V1.5: DECwindows Motif/I18N
This product requires the following SYSGEN parameters:
  GBLPAGES add 3900
This product requires the following SYSGEN parameters:
  GBLSECTIONS add 11
Installation of DECwindows Motif/I18N for OpenVMS Alpha completed.

You can install Locale Language Variant of DECwindows Motif.
$

```

4.1.2 日本語 DECwindows Motif V1.5 のインストール

この例では、すべてのオプションをインストールします。

```
$ PRODUCT INSTALL JDECW /source=DKA400:[JDECWAXP015.KIT]
```

```

The following product has been selected:
  DEC AXPVMS JDECW V1.5      Layered Product
Do you want to continue? [YES]
Configuration phase starting ...

You will be asked to choose options, if any, for each selected product and for
any products that may be installed to satisfy software dependency requirements.
DEC AXPVMS JDECW V1.5: DECwindows Motif/Japanese
Copyright 2005 Hewlett-Packard Development Company, L.P.

```

Hewlett-Packard Company

This product uses the PAK: DW-MOTIF and DW-MOTIF-UI-JAPANESE

Do you want the defaults for all options? [YES] **yes**

Do you want to review the options? [NO] **yes**

DEC AXPVMS JDECW V1.5: DECwindows Motif/Japanese

Do you need to install Japanese keymaps?: **YES**

Do you need to install 100dpi Japanese font?: **YES**

Do you need to install 75dpi Japanese font?: **YES**

Are you satisfied with these options? [YES]

Execution phase starting ...

The following product will be installed to destination:

DEC AXPVMS JDECW V1.5 DISK\$1:[VMS\$COMMON.]

Portion done: 0%...10%...20%...30%...40%...50%...60%...70%...80%...90%...100

The following product has been installed:

DEC AXPVMS JDECW V1.5 Layered Product

DEC AXPVMS JDECW V1.5: DECwindows Motif/Japanese

This product requires the following SYSGEN parameters:

GBLPAGES add 13300

This product requires the following SYSGEN parameters:

GBLSECTIONS add 40

Installation Verification Procedure (IVP) can be run after reboot.

The IVP is SYS\$TEST:DECW\$IVP_JA_JP.COM.

Installation of DECwindows Motif/Japanese for OpenVMS Alpha completed.

Check whether this product have the following PAKs registerd and loaded.

PAK Name

DW-MOTIF

DW-MOTIF-UI-JAPANESE

These are required to run any DECwindows Motif/Japanese for OpenVMS application.

If your system is already running DECwindows Motif, restart DECwindows Motif with the following DCL command:

```
$ @SYS$MANAGER:DECW$STARTUP RESTART
```

If your system has not run DECwindows Motif yet, start DECwindows Motif with the following DCL command:

```
$ @SYS$MANAGER:DECW$STARTUP
```

\$

4.2 アンインストールの実行例

以下に、国際化 DECwindows Motif V1.5 および日本語 DECwindows Motif V1.5 をアンインストールする実行例を紹介します。

アンインストールは、日本語 DECwindows Motif V1.5、国際化 DECwindows Motif V1.5 の順に行います。

この例では、DECnet がシャットダウンしていて、ユーザがログインしていないことを前提としています。

4.2.1 日本語 DECwindows Motif V1.5 のアンインストール

```
$ PRODUCT REMOVE JDECW
```

```
The following product has been selected:
```

```
DEC AXPVMS JDECW V1.5          Layered Product
```

```
Do you want to continue? [YES]
```

```
The following product will be removed from destination:
```

```
DEC AXPVMS JDECW V1.5          DISK$1:[VMS$COMMON.]
```

```
Portion done: 0%...10%...20%...30%...40%...50%...60%...70%...80%...90%...100%
```

```
The following product has been removed:
```

```
DEC AXPVMS JDECW V1.5          Layered Product
```

```
$
```

4.2.2 国際化 DECwindows Motif V1.5 のアンインストール

```
$ PRODUCT REMOVE DWMOTIF_I18N
```

```
The following product has been selected:
```

```
DEC AXPVMS DWMOTIF_I18N V1.5      Layered Product
```

```
Do you want to continue? [YES]
```

```
The following product will be removed from destination:
```

```
DEC AXPVMS DWMOTIF_I18N V1.5      DISK$1:[VMS$COMMON.]
```

```
Portion done: 0%...10%...20%...30%...40%...50%...60%...70%...80%...90%...100
```

```
The following product has been removed:
```

```
DEC AXPVMS DWMOTIF_I18N V1.5      Layered Product
```

```
$
```

エラーからの回復

ここでは、製品のインストレーション時あるいは製品の使用時に発生する可能性のある障害あるいはエラーに対処するための情報を提供します。

5.1 日本語 DECwindows Motif のインストレーション・エラー

インストレーション時に問題を検出した場合は、ユーザにそれを通知し、インストレーションを継続するかどうか問い合わせます。ある状況の場合は、YES と応答して処理を継続することができます。インストレーション処理を中止し、問題を修正する場合は NO と応答するか Return キーを押します。続いて、問題を修正して、インストレーションを再度実行します。

インストレーションに失敗した場合は、次のメッセージが表示されます。

```
%PCSI-E-S_OPFAIL, operation failed  
%PCSIUI-E-ABORT, operation terminated due to an unrecoverable error condition
```

インストレーション中に、以下のいずれかの状況が存在する場合はエラーが発生する可能性があります。

- オペレーティング・システムのバージョンが正しくない場合。
- 必要とするソフトウェア・バージョンが正しくない場合。
- インストレーションに必要なクォータが不足している場合。
- インストレーションに必要なシステム・パラメータ値が不足している場合。
- 製品ライセンスが登録されていない場合。

これらの条件により発生したエラー・メッセージについての説明は、システム・メッセージ、回復手順、OpenVMS ソフトウェア・インストールに関する OpenVMS ドキュメントを参照してください。上記の状態が通知された場合は、メッセージに記述されている適切な処置を行う必要があります。

インストールに必要な条件については、第 1 章を参照してください。

第2部

標準版 DECwindows Motif のインストール

第2部では標準版 DECwindows Motif のインストールについて説明します。

標準版 DECwindows Motif は、OpenVMS のインストール・プロシージャを使用してオペレーティング・システムと同時にインストールすることも可能です。

ここでは、標準版 DECwindows Motif を単独でインストールする場合の手順について説明します。

インストールの準備

ここでは、POLYCENTER ソフトウェア・インストール・ユーティリティを使用して、標準版 DECwindows Motif ソフトウェアをインストールするために必要な準備と条件について説明します。

DECwindows Motif をインストールし設定を行うには、適切なバージョンの OpenVMS オペレーティング・システムと十分な容量のメモリ、およびライセンスが必要です。また、システムのアップグレードの場合は、OSF/Motif Release 1.1.3 プログラミング・ファイルあるいはブックリーダー・ファイルのカスタマイズ内容の保管が必要な場合があります。

この節の構成と内容は次のとおりです。

- 第 6.1 節, 必要なハードウェアとメモリ
- 第 6.2 節, 必要なオペレーティング・システム・ソフトウェア
- 第 1.2 節, 必要なライセンス
- 第 6.4 節, OSF/Motif Release 1.1.3 および XUI プログラミング・ファイルの保管
- 第 6.5 節, 設定したブックリーダー・ファイルの保管
- 第 6.6 節, インストール・プロシージャの実行に必要な前提条件

注意

インストールを始める前にリリース・ノートをお読みください。オンライン・リリース・ノートが用意されています。リリース・ノートを参照する方法については第 7.2 節を参照してください。

6.1 必要なハードウェアとメモリ

DECwindows Motif for OpenVMS Version 1.5 ソフトウェアは、OpenVMS Version 8.2 がサポートするすべてのプロセッサにインストールすることができます。サポートされているハードウェアの一覧については、OpenVMS および DECwindows Motif のソフトウェア仕様書 (SPD) を参照してください。

OpenVMS Alpha システムでは最低 64 MB のメモリが必要になります。可能であれば 128 MB 以上のメモリを用意することをお勧めします。

OpenVMS I64 システムでは、必要な最低メモリ容量はそれぞれの Integrity サーバによって異なります。一般的には、512 MB のメモリ構成をお勧めします。詳細は OpenVMS の SPD を参照してください。

6.2 必要なオペレーティング・システム・ソフトウェア

DECwindows Motif for OpenVMS Version 1.5 のインストールには、システムに OpenVMS Version 8.2 オペレーティング・システムがインストールされていることが必要です。

サポートされているバージョンの OpenVMS がシステムにインストールされていない場合は、DECwindows Motif をインストールしようとするときにインストールが失敗します。

OpenVMS オペレーティング・システムには、DECwindows Motif をサポートするコンポーネントのサブセットが 2 つ含まれています。DECwindows Motif ソフトウェアを使用するには、表 6-1 に示すコンポーネントがインストールされた状態で OpenVMS システムが稼動している必要があります。

表 6-1 DECwindows Motif サポート・オプション

| オプション | 説明 |
|---|--|
| DECwindows Motif ネットワーク・トランスポートおよびベース・システム・サポート | <p>このコンポーネントは DECwindows Motif のインストール・オプション、および DECwindows Motif アプリケーションの実行に必要です。OpenVMS のインストール時にこのオプションのインストールを行うかどうか問い合わせるプロンプトが表示されます。</p> <p>OpenVMS のこのオプションがインストールされているかどうか確認するには、次のファイルが存在するかどうかを確認してください。</p> <p><code>SYSS\$LIBRARY:DECW\$TRANSPORT_COMMON.EXE</code></p> |
| DECwindows X11 Display Server, フォントおよびデバイス・ドライバ | <p>このコンポーネントは、システムに DECwindows Motif アプリケーションその他の X11 アプリケーションを表示するために必要です。OpenVMS のインストール時に、このオプションをインストールするかどうかのプロンプトが表示されます。</p> <p>OpenVMS にこのオプションがインストールされているかどうか確認するには、次のファイルが存在するかどうかを確認してください。</p> <p><code>SYSS\$SYSTEM:DECW\$SERVER_MAIN.EXE</code></p> <p>システムに <code>DECW\$SERVER_MAIN.EXE</code> ファイルがない場合は、ローカル・システムに X Window アプリケーションを表示することはできません¹。DECwindows Motif のインストール・プロシージャは、ワークステーションのサポートなしでインストールを継続するかどうかのプロンプトを表示します。</p> <p>OpenVMS をインストールした後に DECwindows デバイス・サポートを追加する方法については、第 9.2 節を参照してください。</p> |

¹このコンポーネントがローカルにインストールされていない場合は、DECwindows Motif アプリケーションを DECwindows X11 Display Server がインストールされたリモート・システムに表示させてください。

6.3 必要なライセンス

インストール検証プロシージャ (IVP) を起動してソフトウェアを使用する前に、DECwindows Motif のライセンスを登録しておかなければなりません。

ライセンス管理機能 LMF を使用してライセンスを登録するには、システム管理者のアカウント (SYSTEM) でログインします。次のいずれかの方法でライセンスを登録してください。

- SYSSUPDATE:VMSLICENSE.COM プロシージャを呼び出します。入力を求めるプロンプトが表示されたら、ライセンス PAK のデータを入力してください。
- DCL のプロンプトで、ライセンス PAK の情報に対応する修飾子を指定して、LICENSE REGISTER コマンドを入力してください。

VMS クラスタの複数ノードで DECwindows Motif を使用する場合は、このインストールの完了後、他のノードでもライセンスを登録してください。

DECwindows Motif ソフトウェアのライセンスがすでに登録されているノードあるいはクラスタに対してアップデートを行う場合は、ライセンス PAK の新規登録の必要はありません。

ライセンス管理機能 (LMF) の使用についての詳細は、『VMS License Management Utility Manual』を参照してください。

以下の項で、それぞれのプラットフォームに固有のライセンス情報について説明します。

6.3.1 OpenVMS Alpha システムでのライセンス

ノードまたはクラスタ上に DECwindows Motif ソフトウェアをインストールして起動する前に、ライセンス管理機能 (LMF) を使用して、DW-MOTIF ライセンス PAK、あるいは NET-APP-SUP-150 などの DECwindows Motif のサポートを含む別のライセンス PAK を登録する必要があります。ライセンスとメディアをあわせて注文した場合はライセンス PAK 情報はキットとともに提供されます。それ以外の場合は、ライセンスの注文に応じて別途提供されます。

6.3.2 OpenVMS I64 システムでのライセンス

DECwindows Motif をインストールする前に、DECwindows Motif レイヤード製品を含む OpenVMS I64 Operating Environment (OE) のライセンスを登録しておく必要があります。OpenVMS I64 の OE については、HP OpenVMS I64 および DECwindows Motif の SPD を参照してください。

6.4 OSF/Motif Release 1.1.3 および XUI プログラミング・ファイルの保管

DECwindows Motif ソフトウェアで提供される X Window および OSF/Motif ライブラリは、V1.2 より前のバージョンに付属のライブラリとの互換性はありません。ランタイムの互換性は維持されていますが、OSF/Motif リリース 1.1.3 および XUI のプログラミング環境は、それよりあとの OSF/Motif リリース 1.2 のプログラミング環境との互換性はありません。

DECwindows Motif の旧バージョンで提供されていた XUI および OSF/Motif リリース 1.1.3 環境でのプログラミング・サポートは、現在の DECwindows Motif 製品ではサポートされていません。DECwindows Motif のインストール時に、システムに存在する XUI および OSF/Motif リリース 1.1.3 のプログラミング・ファイルを保管するかどうかを選択することができます。これらのプログラミング・ファイルの保管を選択した場合はサブディレクトリにファイルが移され、以後のプログラミングでそれらを利用することができます。具体的には、表 6-2 に示す各ディレクトリに[.DECWS\$113]というサブディレクトリが作成され、古いファイルがこのサブディレクトリに移されます。

表 6-2 旧バージョンの XUI または Motif プログラミング環境用ディレクトリ

| ディレクトリ | 内容 | 新しい位置 |
|----------------|------------|--|
| DECWS\$INCLUDE | C ヘッダ・ファイル | SYSSYSROOT:[DECWS\$INCLUDE.DECWS\$113] |
| SYSSYSTEM | UIL コンパイラ | SYSSYSROOT:[SYSEXE.DECWS\$113] |

(次ページに続く)

表 6-2 (続き) 旧バージョンの XUI または Motif プログラミング環境用ディレクトリ

| ディレクトリ | 内容 | 新しい位置 |
|-------------|---------------|------------------------------|
| SYSSLIBRARY | 非 C 言語バインディング | SYSSYSROOT:[SYSLIB.DECWS113] |

注意

保管したプログラミング・ファイルを利用する方法については、『*HP DECwindows Motif for OpenVMS* リリース・ノート』を参照してください。

6.5 設定したブックリーダー・ファイルの保管

インストレーション・プロシージャによって、次のファイルがデフォルト・バージョンに置き換えられます。

SYSSYSROOT:[DECW\$BOOK]LIBRARY.DECW\$BOOKSHELF

カスタマイズしたファイルを保管したい場合は、DECwindows Motif ソフトウェアをインストールする前に、別のディレクトリにコピーするか、名称を変更して削除されないようにします。

カスタマイズしたファイルを別のディレクトリにコピーする場合は、ディレクトリを作成して、DECW\$PRIVATE_APPS_SETUP.COM ファイルにグローバル・シンボルを定義します。

次の手順に従って、SYS\$COMMON:[DECW\$BOOK_LOCAL] という名前のブックリーダー用のディレクトリを作成します。

1. 次のようにディレクトリを作成し、WORLD の読み取りアクセスを指定します。

```
$ CREATE/DIRECTORY/PROTECTION=WORLD:R -
_$ SYS$COMMON:[DECW$BOOK_LOCAL]
```


2. 次のように LIBRARY.DECW\$BOOKSHELF ファイルを新しいディレクトリにコピーします。

```
$ COPY SYS$SYSROOT:[DECW$BOOK]LIBRARY.DECW$BOOKSHELF -  
_ $ SYS$COMMON:[DECW$BOOK_LOCAL]*/LOG
```

3. SYS\$MANAGER ディレクトリに DECW\$PRIVATE_APPS_SETUP.COM コマンド・ファイルが存在しない場合は、次のようにテンプレート・ファイルをコマンド・ファイルにコピーします。

```
$ COPY SYS$MANAGER:DECW$PRIVATE_APPS_SETUP.TEMPLATE -  
_ $ SYS$MANAGER:DECW$PRIVATE_APPS_SETUP.COM/LOG
```

4. DECW\$PRIVATE_APPS_SETUP.COM ファイルを編集して次の 1 行を追加し、グローバル・シンボルの DECW\$BOOK がブックリーダのディレクトリを示すようにします。

```
$ DECW$BOOK == "SYS$COMMON:[DECW$BOOK_LOCAL]"
```

5. 製品のインストレーション後および DECwindows の起動後 (たとえば、システムのリポート後など) に手順 4 を実行した場合は、次のコマンドを使用して DECwindows Motif を再起動します。

```
$ @SYS$MANAGER:DECW$STARTUP RESTART
```

DECwindows Motif 環境の設定手順についての詳細は、『日本語 DECwindows Motif for OpenVMS 環境設定の手引き』を参照してください。

6.6 インストレーション・プロシージャの実行に必要な前提条件

ここでは、PCSI を使用して DECwindows Motif ソフトウェアをインストールする際に必要な前提条件について説明します。

6.6.1 プロセス・アカウントのクォータ

表 6-3 に、インストール・プロシージャが必要とするクォータを示します。

表 6-3 インストールするアカウントのプロセス・クォータ

| クォータ | 値 |
|-------|--------|
| ASTLM | 250 |
| BIOLM | 150 |
| BYTLM | 64,000 |
| DIOLM | 150 |
| ENQLM | 2,000 |
| FILLM | 100 |

OpenVMS AUTHORIZE ユーティリティを使用して、利用者登録ファイル (UAF) 内のインストール・アカウントのプロセス・クォータの確認および変更を行います (サイトによっては、特定のアカウントあるいはユーザに対して、AUTHORIZE ユーティリティの使用を制限している場合があります)。たとえば、インストール・アカウント *account-name* の BYTLM クォータを変更するには、次のコマンドを入力してください。

```
$ SET DEFAULT SYS$SYSTEM
$ RUN AUTHORIZE
UAF> SHOW account-name
UAF> MODIFY account-name /BYTLM = 32768
UAF> SHOW account-name
UAF> EXIT
$ LOGOUT
```

インストール・アカウントのクォータを変更した場合は、新しい値を有効にするために一度ログアウトした後に再度ログインしてください。以上で、インストール・アカウントに進むことができます。

ユーザ・アカウント・クォータは SYSSYSTEM:SYSUAF.DAT ファイルに保存されています。アカウント・クォータを変更する手順についての詳細は、『OpenVMS システム管理ユーティリティ・リファレンス・マニュアル』を参照してください。

6.6.2 ディスク容量

以下の表を使用して、DECwindows Motif のソフトウェア・コンポーネントをインストールするために必要な空きスペースがシステム・ディスクにあるかどうかを確認します。ただし、すべてのコンポーネントをインストールしない場合は、実際に使用するディスク・スペースはこれよりも少なくなります。

システム・ディスクの空きブロック数を確認するには、DCL プロンプトで次のコマンドを入力してください。

```
$ SHOW DEVICE SYSSYSDEVICE
```

インストール・プロシージャは、システム・ディスクの空きスペースをチェックします。空きスペースが十分でない場合は、次のいずれかの方法を選択することができます。

- インストールするオプション・ファイルの数を減らす。
- インストールを強制終了し、システム・ディスクの空きスペースを増やしてから、インストールを再度実行する。
- ディスクの空きスペースが足りなくなる可能性があることを承知した上で、継続してインストールを行う。

注意

インストール中に必要な空きスペースが不足すると、インストール・プロシージャは失敗します。

表 6-4 OpenVMS I64 システムに必要なディスク容量 (ブロック数)

| コンポーネント/サブ・コンポーネント | 容量 | 小計 | 合計 |
|-----------------------|---------------------|---------|---------|
| インストール・オーバーヘッド: | 40,000 ¹ | 40,000 | 40,000 |
| LBX サポート: | 1,020 | 1,020 | 1,020 |
| クライアント・ソフトウェア: | | | |
| クライアント・ベース・キット | 114,970 | 114,970 | |
| デスクトップ・サポート | | | |
| 新しいデスクトップ | 63,510 | | |
| DECwindows デスクトップ | 13,600 | | |
| 新しいデスクトップ用のリファレンス・ページ | 2,810 | | |
| デスクトップ小計 | | 79,920 | |
| プログラミング環境 | | | |
| C, C++ | 8,970 | | |
| FORTRAN | 2,080 | | |
| Pascal | 3,060 | | |
| 新しいデスクトップ | 150 | | |
| プログラミング小計 | | 14,260 | |
| サンプル・プログラム | | | |
| サウンド・サンプル | 1,670 | | |
| プログラミング・サンプル | 12,290 | | |
| 新しいデスクトップのサンプル | 1,250 | | |
| サンプル小計 | | 15,210 | |
| クライアント合計 | | | 224,360 |
| すべてのコンポーネントの合計: | | | 265,380 |

¹余分のディスク・スペース割り当て (ディスク・クラスタ・サイズに依存), PCSI オーバーヘッド, ログ・ファイルを含む。この値は, LBX, クライアント・ソフトウェアを組み合わせたインストールのための値です。

表 6-5 OpenVMS Alpha システムに必要なディスク容量 (ブロック数)

| コンポーネント/サブ・コンポーネント | 容量 | 小計 | 合計 |
|-----------------------|---------------------|--------|---------|
| インストール・オーバーヘッド: | 40,000 ¹ | 40,000 | 40,000 |
| LBX サポート: | 450 | 450 | 450 |
| クライアント・ソフトウェア: | | | |
| クライアント・ベース・キット | 57,030 | 57,030 | |
| デスクトップ・サポート | | | |
| 新しいデスクトップ | 43,410 | | |
| DECwindows デスクトップ | 7,850 | | |
| 新しいデスクトップ用のリファレンス・ページ | 2,810 | | |
| デスクトップ小計 | | 54,090 | |
| プログラミング環境 | | | |
| C, C++ | 7,910 | | |
| FORTRAN | 2,080 | | |
| Pascal | 3,060 | | |
| 新しいデスクトップ | 150 | | |
| プログラミング小計 | | 13,020 | |
| サンプル・プログラム | | | |
| サウンド・サンプル | 1,550 | | |
| プログラミング・サンプル | 10,290 | | |
| 新しいデスクトップのサンプル | 1,250 | | |
| サンプル小計 | | 13,090 | |
| 変換イメージ・サポート | 28,330 | 28,330 | |
| クライアント合計 | | | 165,780 |
| すべてのコンポーネントの合計: | | | 206,740 |

¹余分のディスク・スペース割り当て (ディスク・クラスタ・サイズに依存), PCSI オーバーヘッド, ログ・ファイルを含む。この値は, LBX, クライアント・ソフトウェアを組み合わせたインストールのための値です。

6.6.3 システム・パラメータ

以下の表を参照して、DECwindows の実行に必要なオペレーティング・システムのシステム・パラメータ値の推奨値を確認してください。DECwindows のインストールにより、AUTOGEN が CLUSPARAMS.DAT ファイルの入力として使用する NEWPARAMS.DAT ファイルが提供されます。CLUSPARAMS.DAT ファイルは、NEWPARAMS.DAT を使用して AUTOGEN にシステム・パラメータ要件値を提供するレイヤード・プロダクトから、システム・パラメータの要件値を取得します。ほとんどの場合、この処理により MODPARAMS.DAT ファイルの修正は必要なくなります。

ご利用のプログラムとアプリケーションの種類に応じて、一部の設定について表の値より大きな値が必要となる場合もあります。より大きな値が必要な場合は、AUTOGEN を実行する前に MODPARAMS.DAT ファイルを修正する必要があります。チューニングに関するその他の情報については、『日本語 DECwindows Motif for OpenVMS 環境設定の手引き』を参照してください。

表 6-6 OpenVMS I64 システムにおけるシステム・パラメータの最小値

| システム・パラメータ | 値 |
|-------------|----------------------|
| GBLSECTIONS | 1,000 ¹ |
| GBLPAGES | 150,000 ¹ |
| GBLPAGFIL | 4,096 |
| SWPOUTPGCNT | 512 |
| MAXBUF | 8,192 |
| CHANNELCNT | 255 |
| PROCSECTCNT | 64 |
| PQL_MASTLM | 100 |
| PQL_MBIOLM | 100 |

¹グローバル・ページおよびグローバル・セクションを使用するアプリケーションをすでにインストールしてある場合は、表より高いパラメータ値が必要となることがあります。システムをブートすると、DECWindows Motif の起動時にシステムの未使用の GBLPAGES および GBLSECTIONS の値がチェックされます。GBLPAGES および GBLSECTIONS に十分な空きがない場合は、DECwindows Motif の起動プロシージャが、警告と各パラメータの推奨値を出力します。

(次ページに続く)

表 6-6 (続き) OpenVMS I64 システムにおけるシステム・パラメータの最小値

| システム・パラメータ | 値 |
|----------------|-----------|
| PQL_MBYTLM | 100,000 |
| PQL_MDIOLM | 100 |
| PQL_MENQLM | 300 |
| PQL_MFILLM | 100 |
| PQL_MPRCLM | 10 |
| PQL_MWSDEFAULT | 4,096 |
| PQL_MWSQUOTA | 8,192 |
| PQL_MWSEXTENT | 16,384 |
| CLISYMTBL | 512 |
| GH_RES_CODE | 3,072 |
| IMGREG_PAGES | 10,000 |
| WINDOW_SYSTEM | 1 |
| NPAGEDYN | 4,194,304 |
| PAGEDYN | 4,194,304 |
| WSMAX | 131,072 |

表 6-7 OpenVMS Alpha システムにおけるシステム・パラメータの最小値

| システム・パラメータ | 値 |
|-------------|----------------------|
| GBLSECTIONS | 600 ¹ |
| GBLPAGES | 150,000 ¹ |
| GBLPAGFIL | 4,096 |
| SWPOUTPGCNT | 512 |
| MAXBUF | 8,192 |
| CHANNELCNT | 255 |

¹グローバル・ページおよびグローバル・セクションを使用するアプリケーションをすでにインストールしてある場合は、表より高いパラメータ値が必要となることがあります。システムをブートすると、DECWindows Motif の起動時にシステムの未使用の GBLPAGES および GBLSECTIONS の値がチェックされます。GBLPAGES および GBLSECTIONS に十分な空きがない場合は、DECwindows Motif の起動プロシージャが、警告と各パラメータの推奨値を出力します。

(次ページに続く)

表 6-7 (続き) OpenVMS Alpha システムにおけるシステム・パラメータの最小値

| システム・パラメータ | 値 |
|----------------|-----------|
| PROCSECTCNT | 128 |
| PQL_MASTLM | 100 |
| PQL_MBIOLM | 100 |
| PQL_MBYTLM | 100,000 |
| PQL_MDIOLM | 100 |
| PQL_MENQLM | 300 |
| PQL_MFILLM | 100 |
| PQL_MPRCLM | 10 |
| PQL_MWSDEFAULT | 1,024 |
| PQL_MWSQUOTA | 2,048 |
| PQL_MWSEXTENT | 8,192 |
| CLISYMTBL | 512 |
| GH_RES_CODE | 1,584 |
| IMGREG_PAGES | 10,000 |
| WINDOW_SYSTEM | 1 |
| NPAGEDYN | 1,348,576 |
| PAGEDYN | 704,288 |
| WSMAX | 12,000 |

注意

インストレーションで必要とするグローバル・ページおよびグローバル・セクションに満たない場合、DCL テーブルが壊れる可能性があります。

6.6.4 システム・ディスクのバックアップ

ソフトウェアをインストールする場合は、その前にシステム・ディスクのバックアップを行うことをお勧めします。インストレーション開始時に、インストレーション・プロシージャから、システム・ディスクのバックアップを行ってあるかどうか問い合わせがあります。通常の手順でバックアップを行ってください。システム・ディスクのバックアップの実行手順についての詳細は、『OpenVMS システム管理

ユーティリティ・リファレンス・マニュアル』のバックアップ・ユーティリティの項を参照してください。

6.6.5 他のユーザへの通知

インストールの前に、特定の製品をインストールしようとしていること、およびインストール中はログアウトしなければならないことをシステムにログインしているユーザに通知します。次の手順に従って、他にログインしているユーザがいないことを確認してください。

1. DCL プロンプトに次のコマンドを入力して、現在ログインしている他のユーザにログアウトするよう通知します。

```
$ REPLY/ALL/BELL/SHUTDOWN "Log out for the installation of -  
_ $ Compaq DECwindows Motif for OpenVMS, Version 1.2--6 please..."
```

2. DCL プロンプトに次のコマンドを入力して、非特権ユーザがシステムにログインできないようにします。

```
$ SET LOGINS/INTERACTIVE=0
```

可能な場合は、システムに再度ログインできるまでの予想時間をユーザに通知するようにしてください。

POLYCENTER ソフトウェア・インストールシ ョン・ユーティリティの使用法

ここでは、POLYCENTER ソフトウェア・インストールシジョン (PCSI) ユーティリティを使用して、DECwindows Motif をインストールする方法について説明します。DECwindows Motif 製品では、DCL (Digital Command Language) インタフェースを使用した PCSI をサポートしています。

この節の構成および内容は次のとおりです。

- 第 7.1 節, ヘルプ情報の参照
- 第 7.2 節, 製品のリリース・ノートの取り出しと印刷
- 第 7.3 節, DECwindows Motif のインストールシジョン
- 第 7.4 節, エラーからの回復

システムにソフトウェア製品をインストールし、管理する方法および手順についての詳細は、『OpenVMS システム管理者マニュアル』を参照してください。このマニュアルでは、インストールシジョンを開始する前の準備に関する情報の他、次のような各種トピックについての有用な情報が提供されています。

- インストールした製品の削除
- インストールした製品の設定変更
- 新しいロケーションへのソフトウェア・キットのコピー
- 製品情報の検索

必要とされるソフトウェアおよびライセンスについての情報は、第 6.2 節を参照してください。

警告

システム・ディスクのバックアップ・コピーがない場合は、DECwindows Motif をインストールしないようにしてください。DECwindows Motif をインストールする前に、(『OpenVMS Upgrade and Installation Supplement』に記載されている手順で)システム・ディスクのバックアップを行ってください。

インストレーション・プロシージャを開始する前に、第6章に目を通し、インストレーションの前提条件と必要条件を確認してください。

7.1 ヘルプ情報の参照

インストレーション・ユーティリティだけでなく、すべての PRODUCT コマンドおよび修飾子に関するオンライン・ヘルプを利用することができます。具体的なコマンドに関するヘルプを呼び出すには、DCL プロンプトで HELP コマンドの後にそのコマンド名と製品名を入力してください。

PRODUCT コマンドおよび修飾子についての詳細は、次のドキュメントを参照してください。

『OpenVMS システム管理者マニュアル』

『OpenVMS システム管理ユーティリティ・リファレンス・マニュアル』

『OpenVMS DCL デクシヨナリ』

製品のインストレーション中に PCSI ユーティリティが問い合わせる質問についての詳細は、『OpenVMS システム管理者マニュアル』を参照してください。問い合わせが表示された場合は、たとえば次のようにして応答します。

- 値を入力し、Return キーを押してオプションを選択します。
- Return キーを押して、省略時の値を選択します。
- 応答を確認します。

オプションを選択するか、省略時の値を選択して質問に回答すると、インストレーション・ユーティリティは回答の内容を要約して画面に表示します。

この時点で、入力した内容に問題がないか、このままインストールを継続してもよいか問い合わせがあります。入力した応答を変更する場合は、NO と入力して Return キーを押します。再度応答を入力するか、NO と入力してインストール・ユーティリティを終了することもできます。

- Ctrl/Y でインストールを中止します (このオプションはできるだけ使用しないようにしてください)。

7.2 製品のリリース・ノートの取り出しと印刷

インストールを開始する前に、製品のリリース・ノートに目を通してください。リリース・ノートのコピーをキットから取り出すには、PCSI\$SOURCE に PCSI キットの場所 (デバイス名とディレクトリ) を定義したあと、DCL プロンプトで PRODUCT EXTRACT RELEASE NOTES コマンドを入力し、続いて製品名である DWMOTIF を入力します。

次に例を示します。

```
$ DEFINE PCSI$SOURCE DKA400:[KITS]
$ PRODUCT EXTRACT RELEASE_NOTES DWMOTIF
```

上記の例では、インストール・キットはdka400:[kits]に存在します。実際にこのコマンドを実行する場合は、このディレクトリ名を DECwindows Motif キットが実際に存在する場所と置き換えてください。DECwindows Motif キットの場所については、製品の配布メディアに含まれているドキュメントを参照してください。

リリース・ノートをファイルとして取り出したら、印刷することができます。リリース・ノートをキットから取り出すために、製品をインストールする必要はありません。

7.3 DECwindows Motif のインストール

以降の各項で、PCSI ユーティリティを使用して DECwindows Motif ソフトウェアをインストールする手順について説明します。

アカウントのクォータ、ディスク・スペース、システム・パラメータについては、第 6 章を参照してください。

7.3.1 インストールの開始

PCSI ユーティリティを起動するには、DCL プロンプトに対して次のコマンドを入力します。

```
$ DEFINE PCSI$SOURCE device:[KITS]
```

上記の例の *device* には配布メディアがマウントされているデバイスもしくはインストール・キットが置かれているデバイスの名前を指定します。上記の例は、[KITS] にインストール・キットが存在する場合の例です。実際にコマンドを実行する場合は、実際に DECwindows Motif キットが存在するディレクトリ名と置き換えて実行してください。キットの場所については、製品の配布メディアに含まれているドキュメントを参照してください。

次に、PCSI を起動します。

```
$ PRODUCT INSTALL DWMOTIF
```

注意

ヘルプ情報を参照したい場合は、/HELP 修飾子を指定して PRODUCT INSTALL コマンドを使用してください。

いくつかのメッセージ継続行を除き、この章で示すすべての表示メッセージは、長い行でも紙面に収まるように左側に寄せています。このため実際に表示されるメッセージのインデントは、この章で示すものと異なる場合があります。

7.3.2 インストール・ダイアログ

インストール・ダイアログには、最初に PCSI がこれからインストールしようとしている製品名が表示されます。その後、インストールを継続するか問い合わせがあります。続いて、製品名、著作権情報、ライセンス情報が表示されます。

The following product has been selected:

DEC AXPVMS DWMOTIF V1.5 Layered Product

Do you want to continue? [YES]

Configuration phase starting ...

You will be asked to choose options, if any, for each selected product and for any products that may be installed to satisfy software dependency requirements.

DEC AXPVMS DWMOTIF V1.5: DECwindows Motif

HP DECwindows for OpenVMS Version 1.5 is based on Version 11 Release 6.6 of the X Window System (X11R6.6) and OSF/Motif Version 1.2.5.

DECwindows Motif V1.5 provides both runtime and development support for the X Window System. Runtime and development support is provided for X11 Release 6.6 (X11R6.6) and OSF/Motif Version 1.2.5. For OSF/Motif Version 1.1.3, only runtime support is provided.

(c) Copyright 2004 Hewlett-Packard Development Company, L.P.

Proprietary computer software. Valid license from HP required for possession, use, or copying. Consistent with FAR 12.211 and 12.212, Commercial Computer Software, Computer Software Documentation, and Technical Data for Commercial Items are licensed to the U.S. Government under vendor's standard commercial license.

Hewlett-Packard Company.

This software product is sold by Hewlett-Packard Company.

This product uses the PAK: DW-MOTIF

This software is furnished under the licensing provisions of Hewlett-Packard Company's Standard Terms and Conditions. For more information about HP's licensing terms and policies, contact your local HP office.

7.3.2.1 プログラミング環境の保存 (Alpha のみ)

DECwindows Motif Alpha のインストール中に、OSF/Motif リリース 1.1.3 プログラミング環境がシステムに存在するかどうかチェックされます。すでに存在する場合は次の情報が表示され、OSF/Motif リリース 1.1.3 プログラミング環境を保存するかどうか問い合わせがあります。

The DECwindows Motif programming environment was installed with a previous version of this kit. This environment is incompatible with the OSF/Motif Release 1.2 environment provided with DECwindows Motif Version 1.5. XUI programming environment is also not included in DECwindows Motif Version 1.5.

If you intend to continue developing programs for XUI or OSF/Motif Release 1.1.3, then save this environment. Please refer to the installation guide for more details and information on accessing these files in their new location.

If you do not choose to save the XUI and OSF/Motif Release 1.1.3 programming environment, those files will be removed from the system disk.

Save the OSF/Motif Release 1.1.3 and XUI programming environment?

Yes と応答して Return キーを押すと、OSF/Motif リリース 1.1.3 および XUI プログラミング環境が保存されます。サブディレクトリ [.DECWS\$113] が作成され、プログラミング環境をサポートするファイルがこのサブディレクトリに移動されます。

No と応答して Return キーを押すと、ファイルは削除されます。

OSF/Motif リリース 1.1.3 プログラミング環境に関連するファイルへのアクセスについての詳細は、『*HP DECwindows Motif for OpenVMS* リリース・ノート』を参照してください。

OpenVMS オペレーティング・システムのアップグレードと DECwindows Motif のアップグレードを同時に行う場合はこの部分のメッセージは表示されません。

7.3.2.2 デフォルト・インストール

次に、デフォルト・インストールを希望するかどうか問い合わせがあります。DECwindows Motif を新規にインストールする場合は、使用しているハードウェア・プラットフォームに適用されるすべてのオプションが自動的にインストールされます。

以前のバージョンの DECwindows Motif が存在するアップグレード・インストールの場合は、以前のインストールで選択されたすべてのオプションが自動的にインストールされます。インストール済みバージョンで選択されていないオプションについては、デフォルト・インストールではインストールされません。

Do you want the defaults for all options? [YES]

この章の以降の部分は、No と応答した場合の手順について説明します。

7.3.2.3 LBX プロキシのインストール

次に、LBX (Low-Bandwidth X) プロキシ・オプションをインストールするかどうか尋ねるダイアログが表示されます。

The LBX proxy reduces the overall network bandwidth required for client-to-server communications. The LBX proxy can be installed as a standalone option or in conjunction with the DECwindows Motif client software.

Install Low Bandwidth X (LBX) Support [YES]

LBX の機能についての詳細は、『日本語 DECwindows Motif for OpenVMS 環境設定の手引き』を参照してください。

7.3.2.4 クライアント・ソフトウェアのインストールの選択

次に、クライアント・ソフトウェアをインストールするかどうか尋ねられます。

Install the DECwindows Motif Version 1.5 client software? [YES]

インストールを行っているシステムあるいはその他のリモート・システムで、DECwindows の表示が必要なプログラムを実行する場合は Yes と答えます。

No と答えた場合は第 7.3.2.8 項へ進みます。

Yes と答えた場合、省略時のクライアント・インストールを行うかどうか尋ねられます。

Do you want the defaults for all suboptions? [YES]

Yes と答えると、以下のクライアント・インストールに対して省略時の設定が適用されます。Yes と答えた場合は第 7.3.2.8 項へ進みます。No と答えた場合は第 7.3.2.5 項へ進みます。

7.3.2.5 デスクトップの選択についての質問

インストールのこの段階で、New Desktop および従来のデスクトップについての情報が表示されます。どちらかのデスクトップを選択してインストールするか、あるいは両方をインストールするか選択することができます。New Desktop のインストールを選択した場合、New Desktop を省略時のデスクトップとして設定するかどうか尋ねてきます。

The New Desktop is a graphical user interface that is derived from the Common Desktop Environment (CDE). It offers the following features not available with the traditional DECwindows desktop:

- o Multiple workspaces for greater flexibility in managing windows on the screen.
- o An icon-based File Manager to make it easier to manipulate files from the graphical user interface.
- o Enhanced support for the drag-and-drop feature, which is fully supported in the new File Manager and Application Manager applications.
- o New Image Viewer and Icon Editor applications.

Both the New Desktop and the DECwindows desktop provide the same underlying X and Motif libraries and the same DECterm, Bookreader, Mail, and Calendar applications.

Install New Desktop [YES]

The manual pages provide online help text for New Desktop functions. If installed they can be viewed using the man page viewer from the Application Manager.

Install Manual (reference) pages for the New Desktop [YES]

If the New Desktop is the default, the new login box will be used and the user has the option at login to use either the New or the traditional desktop.

If the New Desktop is not the default, the traditional login box will be used and only the traditional desktop will be available.

You can change the default desktop by editing the file [SYSMGR]DECW\$PRIVATE_APPS_SETUP.COM and restarting DECwindows.

Make the New Desktop the default desktop [YES]

The traditional DECwindows Desktop is that provided since Version 1.2 of DECwindows. If both new and traditional desktops are installed, the user can select which to run when logging in.

Install traditional DECwindows Desktop [YES]

インストレーション終了後にデスクトップの選択を変更する手順については、第 8.4 節を参照してください。

7.3.2.6 プログラミング言語サポート・オプション

次に、どのプログラミング言語をインストールするか、プログラミング・サンプルをインストールするかどうか問い合わせがあります。

次のようなダイアログが表示されます。

Headers and related files to support programs in C that will use the DECwindows libraries.

Programming Support for the C Language [YES]

Include files to support programs in Pascal that will use the DECwindows libraries.

Programming Support for the Pascal Language [YES]

Include files to support programs in FORTRAN that will use the DECwindows libraries.

Programming Support for the FORTRAN Language [YES]

Headers and related files to support programs in C that will use the New Desktop widgets.

Programming Support for the New Desktop [YES]

Examples of programming to use the various libraries.

Programming examples [YES]

Do you want all the defaults for the subitems? [YES] no

Sample sound files that can be used with DECsound.

Sound example files [YES]

Examples, in various programming languages, of using the DECwindows and standard widgets and libraries.

Programming examples for DECwindows [YES]

Examples, in C, of using the new widgets provided with the New Desktop.

Programming examples for the New Desktop [YES]

7.3.2.7 変換イメージのサポート (Alpha のみ)

DECwindows Motif を OpenVMS Alpha オペレーティング・システムにインストールしている場合は、変換イメージ・サポート (TIS) をインストールするかどうか確認するためのプロンプトが表示されます。このオプションは、VAX 環境で動作する Motif Release 1.1.3 プログラムを Alpha 環境で動作するように変換する機能を提供するためのものです。

Translated image support to allow programs translated from the VAX to work on the Alpha with the Motif Release 1.1.3 libraries.

Translated Image Support [YES]

7.3.2.8 言語バリエーションについての注意

ここで、言語バリエーションのアップデートについての警告がダイアログに表示されます。DECwindows Motif の言語バリエーションを使用する場合は、必ず DECwindows Motif Version 1.5 と同じバージョンの言語バリエーションをインストールするようにしてください。また、システムに古いバージョンの言語バリエーションがインストールされている場合は、DECwindows Motif Version 1.5 のインストールの前に古い言語バリエーションを削除しておく必要があります。

If a Language Variant is installed, refer to the Installation Guide.

If you have a language variant of DECwindows Motif installed, then you must upgrade to the version for DECwindows Motif Version 1.5 after completing this installation and before rebooting the system. A failure to do so could prevent DECwindows from starting.

If there is no local language variant upgrade available for DECwindows Motif Version 1.5, then you should remove the local language variant before installing DECwindows Motif Version 1.5.

Do you want to continue? [YES]

7.3.2.9 インストール・オプションの確認

インストール・ダイアログで選択したオプションを確認するかどうか問い合わせがあります。

Do you want to review the options? [NO] y

DEC AXPVMS DWMOTIF V1.5: DECwindows Motif
DEC AXPVMS VMS V8.2 [Installed]

Install Low Bandwidth X (LBX) Support: YES
Install the DECwindows Motif Version 1.5 client software: YES
Install New Desktop: YES
Install Manual (reference) pages for the New Desktop: YES
Make the New Desktop the default desktop: YES
Install traditional DECwindows Desktop: YES
Programming Support for the C Language: YES
Programming Support for the Pascal Language: YES
Programming Support for the FORTRAN Language: YES
Programming Support for the New Desktop: YES
Programming examples: YES
Sound example files: YES
Programming examples for DECwindows: YES
Programming examples for the New Desktop: YES
Translated Image Support: YES

Are you satisfied with these options? [YES]

7.3.2.10 実行ダイアログ

この時点で、インストール・ダイアログのすべての問い合わせに答えたこととなります。ここから実行段階に入ります。まず、インストールあるいは削除するすべての製品名が表示されます。インストールの進行状況が示されます。

注意

実行段階では、DECwindows Motif サポート・ファイルのチェックが行われます。これらのファイルが使用できない場合、処理を継続するかどうかの問い合わせがあります。詳細については、第 7.3.2.11 項を参照してください。

Execution phase starting ...

The following product will be installed to destination:

DEC AXPVMS DWMOTIF V1.5 DISK\$ALPHASYS:[VMS\$COMMON.]

Portion done: 0%

...10%
...20%
...30%
...40%
...50%
...60%
...70%
...80%
...90%

7.3.2.11 DECwindows Motif サポート・ファイルの確認

インストールのこの段階で、DECwindows Motif アプリケーションおよび実行時サポート・ファイルがオペレーティング・システムにインストールされることがチェックされます (DECwindows Motif ソフトウェアの実行に必要なトランスポート・ファイル、フォント・ファイルなどです)。

**** DECwindows Motif application and run-time support files DETECTED ****

これらのファイルは、デフォルトでインストールされます。

次に、システムをワークステーションまたはワークステーション・ブート・サーバとして使用するために必要なサポート・ファイルがインストールされているかチェックされます。サポート・ファイルがインストールされていれば、次のメッセージが表示されます。

```
**** DECwindows device support files DETECTED ****
```

ファイルがインストールされていない場合は、システムをワークステーションまたはワークステーション・ブート・サーバとして使用できないことを知らせる次の警告メッセージが表示されます。

```
The DECwindows device support files for using this machine as a workstation  
or as a boot node for workstations have not been installed.
```

```
You can use the POLYCENTER Software Installation utility to change the  
options selected when the OpenVMS software was installed.  
See the POLYCENTER Software Installation Utility User's Guide for more  
information. To add the support files and the 75DPI and/or the 100DPI font  
files, use the PRODUCT RECONFIGURE command as follows:
```

```
$ PRODUCT RECONFIGURE VMS
```

```
You should add the "DECwindows server support" subclass in the Utilities  
class.
```

その後、次のような質問があります。

```
Do you wish to continue with this installation without the workstation support?
```

No (デフォルト) と応答して Return キーを押すと、インストールは中止します。必要なサポート・ファイルの追加については第 9.2 節を参照してください。必要なサポート・ファイルを追加した後、インストールを再開します。

Yes と応答して Return キーを押すと、インストールがそのまま進行します。

OpenVMS オペレーティング・システムおよび DECwindows Motif を同時にインストールまたはアップグレードする場合は、インストールのこの部分は該当しません。

7.3.2.12 インストールの最終メッセージの確認

インストールが無事完了すると、インストールまたは削除された製品のリストが表示されます。最後に、DECwindows Motif のインストール完了を通知する最終メッセージが表示されます。

...100%

The following product has been installed:

DEC AXPVMS DWMOTIF V1.5 Layered Product

DEC AXPVMS DWMOTIF V1.5: DECwindows Motif

System reboot is required.

If using a language variant, reboot after upgrade of language variant.

A system reboot is required to install the new DECwindows Motif images. If this is a new installation, you should execute AUTOGEN using the following command:

```
$ @SYS$UPDATE:AUTOGEN GETDATA REBOOT CHECK_FEEDBACK
```

This command adjusts your system parameters and reboots the system.

If you want to use DECwindows with any language other than English, install the appropriate DECwindows Motif Version 1.5 language variant product before using AUTOGEN or rebooting the system.

Installation Verification Procedure can be run after reboot.

Run the Installation Verification Procedure (IVP) after the installation is completed and the system is rebooted. The IVP is located in the following directory: SYS\$TEST:DECW\$I.VP.COM.

7.4 エラーからの回復

インストール中に、以下のいずれかの状況が存在する場合はエラーが発生する可能性があります。

- オペレーティング・システムのバージョンが正しくない場合。
- 必要とするソフトウェア・バージョンが正しくない場合。
- インストール・ユーティリティに必要なプロセス・クォータが十分でない場合。

- OpenVMS のヘルプ・ライブラリが現在使用中である場合。

これらの状態により発生したエラー・メッセージの説明については、「まえがき」の「関連ドキュメント」に示したドキュメントを参照してください。これらのドキュメントにエラーの分析と対処方法が示されています。

何らかの理由によりインストールに失敗した場合、PCSIユーティリティは、次のようなメッセージを表示します。

```
%PCSI-I-INSFAIL, The installation of DECwindows Motif Version 1.5 for
OpenVMS has failed.
```

インストールに失敗した場合は、問題を解決してからインストールを再度実行してください。

7.5 インストール後のパラメータの調整

OpenVMS オペレーティング・システムおよび DECwindows Motif を同時にインストールまたはアップグレードした場合は、この時点でシステム・パラメータ値がチェックされます (第 6.6.3 項および第 8.5 節を参照)。

インストールが正常に完了した場合は、DECwindows Motif の起動時に次のようなメッセージが表示されます。

```
%DECW-W-BADVALUE, SYSGEN parameter GBLPAGES is 120000, should be at least 150000
%DECW-W-BADVALUE, Free GBLPAGES is 75040 should be at least 92000
%DECW-W-BADVALUE, SYSGEN parameter CLISYMTBL is 256, should be at least 512
Some SYSGEN parameters must be reset for DECwindows to start. If you type
YES, AUTOGEN will change these parameters and reboot your system. If you type
NO, AUTOGEN will not be run or cause a reboot but DECwindows will not start.
Do you want the system to run AUTOGEN for you [YES]
```

注意

DECwindows の新規インストールの場合は、このメッセージは表示されません。

ここで、RETURN キーを押してください。システムは自動的に AUTOGEN を実行してシステム・パラメータを調整し、リポートが行われた後 DECwindows のロ
グイン画面が表示されます。

ソフトウェア・インストール完了後の作業

ここでは、DECwindows Motif のインストールが完了後に必要な作業について説明します。

- 第 8.1 節, DECwindows Motif ソフトウェアの起動
- 第 8.2 節, IVP の実行
- 第 8.3 節, コンソールの選択
- 第 8.4 節, デスクトップの選択

8.1 DECwindows Motif ソフトウェアの起動

OpenVMS のワークステーション・サポート・コンポーネントがインストールされている場合、システムのリブート時に DECwindows のスタートアップ・プロセスが自動的に実行されます。DECWS\$START_NEW_DESKTOP グローバル・シンボルの値に応じて、New Desktop のログイン・ダイアログ・ボックスあるいは DECwindows デスクトップのセッション開始ダイアログ・ボックスのいずれかが表示されます (詳細は第 8.4 節を参照してください)。

システムに DECwindows Motif の有効なライセンスが登録されていない場合は、コンソール端末にその旨のメッセージが表示され、DECwindows Motif は自動的に起動されません。この場合は、システムにログインして有効なライセンスを登録してから DECwindows Motif ソフトウェアを起動してください。LMF を使用してライセンスを登録する方法についての詳細は、『VMS License Management Utility Manual』を参照してください。DECwindows の起動方法の詳細については『日本語 DECwindows Motif for OpenVMS 環境設定の手引き』を参照してください。

8.2 IVPの実行

DECwindows Motif をインストールして起動した後、IVP (Installation Verification Procedure) `SYS$TEST:DECW$IVP.COM` を実行します。IVP には、ソフトウェアのインストレーションが完全かつ正確に行われたかどうかを確認する一連のテストが含まれています。

8.2.1 プロシージャの実行

IVP プロシージャを起動するには `SYS$TEST:DECW$IVP` コマンド・プロシージャを実行します。簡単な指示とともにダイアログが表示されます。

```
$ @SYS$TEST:DECW$IVP
```

```
(c) Copyright 2004 Hewlett-Packard Development Company, L.P.
```

```
HP DECwindows Motif for OpenVMS Installation Verification Procedure (IVP)
```

```
This IVP is intended to test some of the functionality of DECwindows Motif  
and to provide a quick method of verifying the installation.
```

注意

LAT ソフトウェアを使用して X 端末から IVP を実行する場合、最初に次のコマンドを入力してください。

```
$ SET DISPLAY/CREATE/NODE=LAT_#####/TRANSPORT=LAT
```

#####には実際の LAT 端末番号を入力してください。

_Display: プロンプトでデフォルトを入力することもできます。

8.2.2 表示関連テスト

次に、IVP プロシージャは表示関連テストを実行しようとします。これらのテストを実行するかどうか、またその動作の内容は、お使いのハードウェアによって、およびシステムにテスト・イメージが存在するかどうかによって異なります。

- テスト・イメージが存在し、かつワークステーションからテストを実行している場合は、表示関連テストをどこに表示するか確認のための問い合わせがあります。通常、現在お使いのワークステーションがデフォルトの表示場所です。デフォルトの表示場所は、通常、IVP 実行しているプロセスに対応する DECW\$DISPLAY 論理名の値で決まります。この論理名は、ローカル・ディスプレイ・サーバあるいはリモート・ディスプレイ・サーバのどちらかを指しません。
- テスト・イメージが存在し、かつワークステーションを使用していない場合、_Display:プロンプトでノード名を入力する必要があります。この場合、DECW\$DISPLAY 論理名は定義されていないのでデフォルト値は表示されません。たとえば、SET HOST コマンドを使用してシステムにアクセスし、DECW\$DISPLAY 論理名を定義していない場合、IVP はユーザがワークステーションを使用しているかどうか判断できません。表示を行いたいノードの名前を入力してください。ノード名だけを指定した場合、そのノード上でデフォルトとして DECnet トランスポート、サーバ 0、スクリーン 0 が使用されません。これらのデフォルト値と違う値を使用したい場合は、完全な表示名を指定してください(たとえば、ashfld:2.1は、ノード ashfld で TCP/IP トランスポートを使用してスクリーン 1、サーバ 2 との接続を確立します)。
- IVP がイメージを検出しなかった場合は、メッセージが表示されテストは実行されません。

表示関連テストを実行したくない場合は、プロンプトで Ctrl/Z を入力してください。

次の例は、ワークステーションにおける表示テストの実行例です。表示デバイス_WSA150は、ローカル・ディスプレイでもリモート・ディスプレイでもかまいません。

To skip the display-oriented tests, press Ctrl/Z at the following prompt.

```
_Display:[_WSA150:]
```

```
%DECW-I-IVP, The IVP will display on WSA150:
%DECW-I-IVP, Running DECW$EXAMPLES:ICO.EXE for up to a minute.
%DECW-I-IVP, Press Ctrl/Y to interrupt test.
%DCL-S-SPAWNED, process DECW$IVP_ICO spawned
%DECW-I-IVP, Running SYS$SYSTEM:DECW$CLOCK for up to a minute.
%DECW-I-IVP, Press Ctrl/Y to interrupt test.
%DCL-S-SPAWNED, process DECW$IVP_CLOCK spawned
```

次の例ではワークステーションでないシステムでテストを実行しています。

```
This machine is not a workstation. Please provide the node name of a
workstation on which to display the IVP tests. You must be sure that this
account and node have security access to the display node, or the IVP will
fail.
```

To skip the display-oriented tests, press Ctrl/Z at the following prompt.

```
_Display []: NODE33
%DECW-I-IVP, The IVP will display on NODE33::0.0
```

この後表示されるメッセージは、ワークステーションの場合と同じです。

8.2.3 LBX プロキシ・テスト

表示関連テストが選択され必要なイメージが利用できる状態であれば、プロシージャは LBX プロキシ・テストを実行しようとしています。テスト結果のメッセージ表示は、前のセクションでディスプレイ名あるいはノード名が入力されたかどうかによって、および、ディスプレイ名が入力された場合はそのディスプレイがローカル・ディスプレイかあるいはリモート・ディスプレイかによって、また、ローカル・ディスプレイの場合はそのディスプレイが LBX テストをサポートするように適切に構成されているかどうかによって変わります。次に示すのは、考えられるいくつかのケースにおける IVP の動作例です。

- 指定したディスプレイがローカルで、ディスプレイ・サーバが LBX および SECURITY 機能をサポートするように構成されており、IVP プロセスが必要な特権を持っている場合は、IVP は次のようなメッセージを表示します。

```
%DECW-I-IVP, LBX Proxy tests, tests will execute through a proxy
%DECW-I-IVP, Running DECW$EXAMPLES:ICO.EXE for up to a minute.
%DECW-I-IVP, Press Ctrl/Y to interrupt test.
%DCL-S-SPAWNED, process DECW$IVP_LBX spawned
Using port number '50'
%DCL-S-SPAWNED, process DECW$IVP_ICO spawned
%DECW-I-IVP, End of LBX Proxy tests
```

- 指定したディスプレイがリモートの場合、プロシージャは、ディスプレイ・サーバが LBX および SECURITY 機能をサポートするかどうか判断できません。リモート・サーバが適切に構成されていない場合はテストが失敗する旨警告メッセージが表示されます。次の例で示すのは、リモート・ディスプレイが選択され、IVP を実行しているプロセスが必要な特権を持っている場合の IVP の LBX に関する部分です。リモート・サーバが適切に構成されている場合、この後に表示される LBX に関する部分のメッセージは最初の例のメッセージと同じです。リモート・サーバが適切に構成されていない場合は、LBX テスト (および IVP) は失敗します。

The LBX tests can only be executed if the display server has been configured to support the LBX and SECURITY extensions and this account has permission to generate cookies. Normally, remote servers will not give that permission and the LBX tests cannot be executed.

Answer "NO" at the following prompt to skip the LBX tests.

Execute LBX test? YES

- 指定したディスプレイがローカルで、ディスプレイ・サーバが LBX および SECURITY 機能をサポートするように構成されているが、IVP プロセスが必要な特権を持っていない場合は、IVP は次のようなメッセージを表示します。

```
%DECW-I-IVP, No privilege to execute LBX part of test. Proxy test skipped.
```

- 指定したディスプレイがローカルで、ディスプレイ・サーバが LBX 機能をサポートするように構成されていない場合、IVP は次のようなメッセージを表示します。

```
%DECW-I-IVP, Server does not support LBX extension. Proxy test skipped.
```

- 指定したディスプレイがローカルで、ディスプレイ・サーバが SECURITY 機能をサポートするように構成されていない場合、IVP は次のようなメッセージを表示します。

```
%DECW-I-IVP, Server does not support SECURITY extension. Proxy test skipped.
```

- IVP ダイアログの最初の部分でディスプレイ名の変わりにノード名を入力した場合、IVP は次のようなメッセージを表示します。

```
%DECW-I-IVP, LBX Proxy tests need a display device. Proxy test skipped.
```

8.2.4 表示関連以外のテスト

最後に、IVP は表示関連以外の 2 つのテストを実行します。

- 3 つのうち最初のテストは Motif UIL コンパイラを起動します。プログラミング・サポートをインストールしていない場合、IVP は、Motif UIL イメージが存在しないためこのテストは実行されない旨通知するメッセージを表示します。このテストが実行された場合、終了状態が通知されます。
- 最後のテストでは、テキスト・ファイルが DDIF フォーマットに変換され、その後テキストに戻されて、元のテキスト・ファイルと変換されたファイルが比較されます。ファイルが一致する場合、テストは成功しています。ユーザに終了状態が通知されます。

次の例は、最後の 2 つのテストについての IVP の出力です。

```
%DECW-I-IVP, Invoking the UIL Motif compiler...
%DECW-S-IVP, The UIL Motif compiler test completed successfully.
%DECW-I-IVP, Beginning CONVERT/DOCUMENT IVP...
%DECW-S-IVP, CONVERT/DOCUMENT IVP passed.
%DECW-S-IVP, The IVP has completed.
$
```

8.3 コンソールの選択

コンソールから手動で DECwindows Motif ソフトウェアをブートすることができます。ただし前述のように、コンソールのタイプはオペレーティング・システム・プラットフォームによって変わります。

8.3.1 OpenVMS Alpha システムの場合

メイン・コンソールから DECwindows Motif ソフトウェアをブートすることができます。オペレータ・ウィンドウを表示するかしないかは Ctrl/F2 で切り替えることができます。メイン・コンソールは常にワークステーションの画面です。

メイン・コンソール(ワークステーション画面)にログインしている場合、DECwindows を起動する前にログアウトする必要があります。メイン・コンソールから次のコマンドを実行してください。

```
$ @SYS$MANAGER:DECW$STARTUP
```

コマンド・プロシージャが完了した後、メイン・コンソールからログアウトしてください。ログアウトしないとサーバは起動されず、ログイン・ボックスが表示されません。

ターミナル・ポート経由でワークステーションに接続したターミナルを代替コンソールとして使用することができます。メイン・コンソールからブートした場合、代替コンソールは DECwindows Motif スタートアップ・コマンド・プロシージャを起動したときに接続されます。代替コンソールからシステムをブートした場合、Console Window アプリケーションは起動できません。

8.3.2 OpenVMS I64 システムの場合

OpenVMS I64 環境では、特別な管理ポートに接続された非グラフィックスのシリアル・コンソールのみがサポートされます。シリアル・コンソールの構成および使用方法については『HP OpenVMS Upgrade and Installation Manual』を参照してください。

8.4 デスクトップの選択

OpenVMS Alpha システムの場合、DECwindows Motif には 2 種類のデスクトップのオプションがあります。CDE (共通デスクトップ環境) から派生した New Desktop および従来の DECwindows ウィンドウです。

インストール中に、New Desktop および従来の DECwindows ウィンドウの両方をインストールする選択をした場合、どちらを省略時の設定にするか問い合わせがあります。

省略時の設定としてもう一方のデスクトップを選択する場合は、次の手順を実行してください。

1. SYS\$MANAGER:DECW\$PRIVATE_APPS_SETUP.COM ファイルが存在しない場合は DECW\$PRIVATE_APPS_SETUP.TEMPLATE からコピーします。(または、以前のバージョンの DECwindows Motif がインストールされていない場合は、新規に作成します)。次に例を示します。

```
$ COPY SYS$MANAGER:DECW$PRIVATE_APPS_SETUP.TEMPLATE -  
_ $ SYS$COMMON:[SYSMGR]DECW$PRIVATE_APPS_SETUP.COM
```

2. SYS\$MANAGER:DECW\$PRIVATE_APPS_SETUP.COM を編集し、DECW\$START_NEW_DESKTOP のシンボル定義を追加します。New Desktop を省略時の設定にしたい場合は、次のグローバル・シンボル定義を入力します。

```
$ DECW$START_NEW_DESKTOP == "TRUE"
```

DECwindows デスクトップを省略時の設定にしたい場合は、次のグローバル・シンボル定義を入力します。

```
$ DECW$START_NEW_DESKTOP == "FALSE"
```

3. 次のコマンドを実行して、DECwindows を再起動します。

```
$ @SYS$MANAGER:DECW$STARTUP RESTART
```

8.5 システムの保守

この項では、システム・ジェネレーション・ユーティリティ (SYSGEN) および AUTOGEN ユーティリティを使用して、DECwindows Motif 用にシステムを調整する方法を説明します。AUTOGEN ユーティリティはシステム構成データを使用して、システム・パラメータを自動的に設定します。

注意

DECwindows Motif のスタートアップ・プロシージャは、必要なシステム・パラメータ値を自動的にチェックし、NEWPARAMS.DAT を通して AUTOGEN に適切な値を渡します。したがって、ほとんどの場合、以下の項で説明するようなマニュアル操作によるパラメータ値のチェックおよび修正の必要はありません。これらの項では、DECwindows Motif により通常指定される値を超えてシステム・リソースを増やす必要があると判断した場合の手順について説明しています。

8.5.1 SYSGEN によるシステム・パラメータ値のチェック

システム・パラメータ値をチェックするには、DCL プロンプトで次のコマンドを入力して SYSGEN ユーティリティを起動してください。

```
$ RUN SYS$SYSTEM:SYSGEN
SYSGEN> USE CURRENT
SYSGEN>
```

SYSGEN プロンプトで、SHOW コマンドを入力してシステム・パラメータ値を表示してください。次のコマンドで、CLISYMTBL システム・パラメータ値を表示することができます。

```
SYSGEN> SHOW CLISYMTBL
```

SHOW コマンドですべての必要なパラメータをチェックした後、SYSGEN プロンプトで EXIT コマンドを入力し、DCL レベルに戻ります。

8.5.2 未使用のグローバル・ページとグローバル・セクションの計算

DECwindows Motif ソフトウェアをインストールし実行するためには、DECwindows Motif ソフトウェアおよび SYSS\$LIBRARY:DCLTABLES.EXE ファイルに対して、十分な空きグローバル・ページとグローバル・セクションが必要になります。

DECwindows Motif は、NEWPARAMS.DAT ファイルでグローバル・ページおよびグローバル・セクションに対して MIN_ および ADD_ パラメータの両方を用意して十分なリソースが利用できるようにします。また、DECwindows Motif のスタートアップ・コマンド・プロシージャはこれらの値をチェックし、現在のリソースが十分でない場合は AUTOGEN を自動的に起動します。ただし、一定のシステム負荷のもとでは、ユーザ自身が MODPARAMS.DAT に ADD_ エントリを記述してこれらのリソースを増やす必要がある場合もあります。ユーザが MODPARAMS.DAT に用意した ADD_ の値は、DECwindows Motif が NEWPARAMS.DAT ファイルに用意した値に加えられます。

連続する空きグローバル・ページ数および空きグローバル・セクション数を調べるには、F\$GETSYI レキシカル関数とともに WRITE コマンドを入力してください。可能であればこのコマンドは、これらの2つのリソースに対する負荷のピーク時に使用してください。次の例では、省略時のターミナル SYSS\$OUTPUT でこの情報を入手する方法を示しています。

```
$ WRITE SYS$OUTPUT F$GETSYI("CONTIG_GBLPAGES")   
15848  
$ WRITE SYS$OUTPUT F$GETSYI("FREE_GBLSECTS")   
24
```

8.5.3 ページ・ファイ・サイズの設定

許容範囲のパフォーマンスで DECwindows Motif を実行できるように、ページ・ファイルのサイズには、システムの仮想メモリを扱うことができるだけの十分な大きさがが必要です。ページ・ファイルの最適サイズは、システムに搭載している物理メモリ量、アプリケーションの負荷など、各種要因に依存します。

通常は、FEEDBACK を指定して AUTOGEN を実行し、システムの使用パターンに基づいたページ・ファイルのサイズを計算させます。FEEDBACK を指定して AUTOGEN を実行するには、次の DCL コマンドを入力します。

```
$ @SYS$UPDATE:AUTOGEN SAVPARAMS REBOOT FEEDBACK
```

また、SYSGEN ユーティリティを実行して、あるいは SYS\$UPDATE:SWAPFILES.COM コマンド・プロシージャを使用して、ページ・ファイルのサイズを増やすこともできます。

ページ・ファイルのサイズの設定手順および AUTOGEN の実行手順についての詳細は、『OpenVMS システム管理者マニュアル』の AUTOGEN ユーティリティの節および『OpenVMS システム管理ユーティリティ・リファレンス・マニュアル』の AUTOGEN ユーティリティの節を参照してください。パフォーマンスのチューニング全般については、『OpenVMS Performance Management』を参照してください。

8.5.4 AUTOGEN ユーティリティによるシステム・パラメータの変更

AUTOGEN ユーティリティを使用して、システム・パラメータを変更します。AUTOGEN は、ユーザがマニュアル操作でリセットした値に対応するパラメータの値を自動的に調整します。AUTOGEN を使用してシステム・パラメータを変更するには、SYS\$SYSTEM:MODPARAMS.DAT ファイルを編集してください。

このファイルに入っているパラメータ値を変更するには、そのパラメータに対応する現在値を削除し、新しい値を入力してください。

グローバル・ページおよびグローバル・セクションなどのパラメータの現在の値を増やす場合は、パラメータ名にプリフィックス ADD_ を付けて値を指定した 1 行をファイルに追加します。次の例では、グローバル・ページの値に 30,000 を追加しています。

```
ADD_GBLPAGES = 30000
```

変更をすべて入力したらファイルの編集を終了し、AUTOGEN ユーティリティを実行してシステム・パラメータを再度計算します。次のコマンドを入力して、システム・パラメータを再度計算し、システムをリブートします。

```
$ @SYS$UPDATE:AUTOGEN GETDATA REBOOT
```

REBOOT を指定すると、AUTOGEN ユーティリティが自動的にシステムをシャットダウンした後、システムを再ブートします。シャットダウン中にシステムにログインしたユーザは、シャットダウン時に自動的にシステムから切断されます。自動再ブートにより、新しいパラメータ値が有効となります。

AUTOGEN の使用方法についての詳細は、『OpenVMS システム管理者マニュアル』の AUTOGEN ユーティリティの項および『OpenVMS システム管理ユーティリティ・リファレンス・マニュアル』の AUTOGEN の項を参照してください。

DECwindows Motif ソフトウェアの管理

DECwindows Motif 製品のインストレーション後，システムをチューニングすることにより，システムの性能を向上させ，システム・リソースの消費を低減し，特定のサーバ設定を行うことができます。ここでは，DECwindows Motif 環境の設定について説明します。システム管理についての詳細は，『日本語 DECwindows Motif for OpenVMS 環境設定の手引き』および『*HP DECwindows Motif for OpenVMS New Features*』を参照してください。

この章では以下の内容について説明します。

- 第 9.1 節, DECwindows X11 ディスプレイ・サーバのスタートアップ・プロシージャのカスタマイズ
- 第 9.2 節, DECwindows ベース・サポート・ファイルの追加
- 第 9.3 節, 問題の確認と報告

9.1 DECwindows X11 ディスプレイ・サーバのスタートアップ・プロシージャのカスタマイズ

DECwindows X11 Display Server は，ディスプレイ，キーボード，マウスなどのワークステーションのグラフィックス装置を管理します。スタートアップ・コマンド・プロシージャは，DECwindows X11 Display Server のほとんどの構成パラメータを自動的に決定します。ただし，キーボードのレイアウト，適切なネットワーク・トランスポート，あるいはどの X サーバ拡張（たとえば XINERAMA，SECURITY，XKB）を有効にするかなど，コマンド・プロシージャが決定できない項目がいくつかあります。

サーバ・スタートアップ・ファイルを次のように変更することにより、これらのディスプレイ・サーバ設定を指定することができます。

1. SYSSMANAGER:DECW\$PRIVATE_SERVER_SETUP.TEMPLATE ファイルのコピーを作成し、それを SYSSMANAGER:DECW\$PRIVATE_SERVER_SETUP.COM という名前に変更します。このサーバ・スタートアップ・ファイルに、各ワークステーション用の DCL コマンド部分を追加して、個々のワークステーションを設定する方法を明示します。
2. サーバ・スタートアップ・ファイルの 2 つのセクション (Cluster Common あるいは Standalone Workstation) のいずれかにセットアップ・オプションを追加あるいは変更するためにファイルを編集します。これらのオプションの詳細は、『日本語 DECwindows Motif for OpenVMS 環境設定の手引き』あるいはこのファイルそのものを参照してください。ワークステーション固有のオプションを追加した場合は、変数 node_list も変更しなければなりません。
3. 次のコマンドを使用して、サーバ・スタートアップをカスタマイズしたワークステーション上で DECwindows Motif を再起動します。

```
$ @SYSSMANAGER:DECW$STARTUP RESTART
```

9.2 DECwindows ベース・サポート・ファイルの追加

以前に DECwindows ベース・サポート・ファイルのインストールを選択していない場合、または削除した場合、PRODUCT RECONFIGURE コマンドを使用してオペレーティング・システムを再構成し DECwindows Motif をサポートするように指定します。

9.3 問題の確認と報告

DECwindows Motif を使用していて問題が発生した場合は、弊社にご連絡ください。保証の詳細については、『ソフトウェア仕様書』で確認してください。保証期間中に問題が発生した場合は、弊社のサポート担当者に連絡してください。

POLYCENTER ソフトウェア・インストールシ ョン・ユーティリティを使用したインストール 実行例

ここでは、OpenVMS I64 Version 8.2 および OpenVMS Alpha Version 8.2 オペレーティング・システムにおける DECwindows Motif のインストール実行例を示します。

POLYCENTER ソフトウェア・インストールシジョン (PCSI) ユーティリティを使用して DECwindows Motif ソフトウェアをインストールする方法の詳細は、第 7 章を参照してください。

ここに示すインストールシジョン実行例では、省略時のディレクトリを、DECwindows Motif セーブセットと必要な ECO を含むデバイス名とディレクトリに設定していることを想定しています。

A.1 OpenVMS I64 システムにおける実行例

例 A-1 に示すのは、OpenVMS I64 オペレーティング・システムにおける DECwindows Motif のインストールシジョン実行例です。

例 A-1 Version 8.2 システムにおける DECwindows Motif のインストール実行例

\$ PRODUCT INSTALL DWMOTIF

The following product has been selected:

HP I64VMS DWMOTIF V1.5 Layered Product

Do you want to continue? [YES]

Configuration phase starting ...

You will be asked to choose options, if any, for each selected product and for any products that may be installed to satisfy software dependency requirements.

HP I64VMS DWMOTIF V1.5: DECwindows Motif

(c) Copyright 2004 Hewlett-Packard Development Company, L.P.

Hewlett-Packard Company.

This software product is sold by Hewlett-Packard Company.

DECwindows Motif is license-managed using the License Management Facility.

Do you want the defaults for all options? [YES]

If a Language Variant is installed, refer to the Installation Guide.

Do you want to continue? [YES]

Do you want to review the options? [NO] Y

HP I64VMS DWMOTIF V1.5: DECwindows Motif

HP I64VMS VMS V8.2 [Installed]

Install Low Bandwidth X (LBX) Support: YES

Install the DECwindows Motif Version 1.5 client software: YES

Install New Desktop: YES

Install Manual (reference) pages for the New Desktop: YES

(次ページに続く)

A-2 POLYCENTER ソフトウェア・インストール・ユーティリティを使用したインストール実行例

例 A-1 (続き) Version 8.2 システムにおける DECwindows Motif のインストール実行
例

```
Make the New Desktop the default desktop: YES
Install traditional DECwindows Desktop: YES
Programming Support for the C Language: YES
Programming Support for the Pascal Language: YES
Programming Support for the FORTRAN Language: YES
Programming Support for the New Desktop: YES
Programming examples: YES
Sound example files: YES
Programming examples for DECwindows: YES
Programming examples for the New Desktop: YES
```

Are you satisfied with these options? [YES]

Execution phase starting ...

```
The following product will be installed to destination:
HP I64VMS DWMOTIF V1.5          DISK$2:[VMS$COMMON.]
```

```
Portion done: 0%
...10%
...20%
...30%
...40%
...50%
...60%
...70%
...80%
...90%
```

```
**** DECwindows Motif application and run-time support files DETECTED ****
```

```
**** DECwindows device support files DETECTED ****
```

```
...100%
```

```
The following product has been installed:
HP I64VMS DWMOTIF V1.5          Layered Product
```

(次ページに続く)

例 A-1 (続き) Version 8.2 システムにおける DECwindows Motif のインストール実行
例

HP I64VMS DWMOTIF V1.5: DECwindows Motif

System reboot is required.

Installation Verification Procedure can be run after reboot.

\$ Logout

A.2 OpenVMS Alpha システムに置ける実行例

例 A-2 に示すのは、OpenVMS Alpha オペレーティング・システムにおける
DECwindows Motif のインストール実行例です。

例 A-2 OpenVMS Alpha Version 8.2 システムにおける DECwindows Motif のアップグレード実行例

```
$ PRODUCT INSTALL DWMOTIF 
```

The following product has been selected:

```
DEC AXPVMS DWMOTIF V1.5          Layered Product
```

Do you want to continue? [YES]

Configuration phase starting ...

You will be asked to choose options, if any, for each selected product and for any products that may be installed to satisfy software dependency requirements.

DEC AXPVMS DWMOTIF V1.5: DECwindows Motif

(c) Copyright 2004 Hewlett-Packard Development Company, L.P.

Hewlett-Packard Company

This product uses the PAK: DW-MOTIF

Do you want the defaults for all options? [YES]

If a Language Variant is installed, refer to the Installation Guide.

Do you want to continue? [YES]

Do you want to review the options? [NO] Y

DEC AXPVMS DWMOTIF V1.5: DECwindows Motif

DEC AXPVMS VMS V8.2 [Installed]

Install Low Bandwidth X (LBX) Support: YES

Install the DECwindows Motif Version 1.5 client software: YES

Install New Desktop: YES

Install Manual (reference) pages for the New Desktop: YES

Make the New Desktop the default desktop: YES

Install traditional DECwindows Desktop: YES

(次ページに続く)

例 A-2 (続き) OpenVMS Alpha Version 8.2 システムにおける DECwindows Motif のアップ
グレード実行例

Programming Support for the C Language: YES
Programming Support for the Pascal Language: YES
Programming Support for the FORTRAN Language: YES
Programming Support for the New Desktop: YES
Programming examples: YES
Sound example files: YES
Programming examples for DECwindows: YES
Programming examples for the New Desktop: YES
Translated Image Support: YES

Are you satisfied with these options? [YES]

Execution phase starting ...

The following product will be installed to destination:

DEC AXPVMS DWMOTIF V1.5 DISK\$2:[VMS\$COMMON.]

The following product will be removed from destination:

DEC AXPVMS DWMOTIF V1.3-1 DISK\$2:[VMS\$COMMON.]

Portion done: 0%

..10%
..20%
..30%
..40%
..50%
..60%
..70%
..80%
..90%

**** DECwindows Motif application and run-time support files DETECTED ****

**** DECwindows device support files DETECTED ****

...100%

The following product has been installed:

(次ページに続く)

例 A-2 (続き) OpenVMS Alpha Version 8.2 システムにおける DECwindows Motif のアップ
グレード実行例

```
DEC AXPVMS DWMOTIF V1.5          Layered Product
The following product has been removed:
DEC AXPVMS DWMOTIF V1.3-1        Layered Product
```

```
DEC AXPVMS DWMOTIF V1.5: DECwindows Motif
```

```
System reboot is required.
```

```
Installation Verification Procedure can be run after reboot.
$ Logout 
```


B

ソフトウェア・コンポーネントとバージョンの確認

B.1 インストールされているコンポーネントの一覧

DECwindows Motif をインストールしたら，インストールされているすべてのファイルとディレクトリおよびサブディレクトリの一覧を入手することができます。

この一覧を入手するには，次の PCSI コマンドを入力してください。

```
$ PRODUCT SHOW OBJECT/product=dwmotif
```

以下に，コマンドの出力結果の例を示します。

| OBJECT | OBJECT TYPE | STATUS |
|--|-------------|--------|
| ----- | ----- | ----- |
| [000000] | directory | OK |
| [000000]DEC-AXPVMS-DWMOTIF-V0105.PCSI\$DESCRIPTION | file | OK |
| [000000]DEC-AXPVMS-DWMOTIF-V0105.PCSI\$TLB | file | OK |
| [CDA\$LIBRARY] | directory | OK |
| [CDA\$LIBRARY]CL_DAY.DOC_STYLE | file | OK |
| [CDA\$LIBRARY]DEFSTYLE.DDIF | file | OK |
| [CDE\$DEFAULTS] | directory | OK |
| [CDE\$DEFAULTS] | directory | OK |
| [CDE\$DEFAULTS.SYSTEM] | directory | OK |
| [CDE\$DEFAULTS.SYSTEM] | directory | OK |
| [CDE\$DEFAULTS.SYSTEM.APP-DEFAULTS] | directory | OK |
| [CDE\$DEFAULTS.SYSTEM.APP-DEFAULTS.C] | directory | OK |
| [CDE\$DEFAULTS.SYSTEM.APP-DEFAULTS.C]DT.DAT | file | OK |
| [CDE\$DEFAULTS.SYSTEM.APP-DEFAULTS.C]DTCALC.DAT | file | OK |
| [CDE\$DEFAULTS.SYSTEM.APP-DEFAULTS.C]DTCREATE.DAT | file | OK |
| [CDE\$DEFAULTS.SYSTEM.APP-DEFAULTS.C]DTFILE.DAT | file | OK |
| [CDE\$DEFAULTS.SYSTEM.APP-DEFAULTS.C]DTHELLO.DAT | file | OK |
| . | | |
| . | | |
| . | | |

B.2 インストール済みイメージのバージョンの確認

システムにインストールされているソフトウェア・コンポーネントとそのバージョンを確認したい場合は、以下のようなコマンド・プロシージャを使用することができます。これらのコマンド・プロシージャはSYS\$UPDATE ディレクトリに含まれており、インストール済みのレイヤード製品イメージのバージョンの確認に利用することができます。

- DECW\$GET_IMAGE_VERSION.COM

イメージからイメージ ID 文字列を取り出し、ユーザ定義シンボルに代入します。

- DECW\$COMPARE_VERSIONS.COM

2つのイメージ ID 文字列を比較し、ユーザ定義シンボルに以下のような値を割り当てます。

- ファシリティ・コードが一致しない
- ID が同じ
- 2つ目の ID は1つ目の ID より古い
- 2つ目の ID は1つ目の ID より新しい

- DECW\$VERSIONS.COM

DECwindows Motif レイヤード製品および X ディスプレイ・サーバのいくつかのコンポーネントのバージョンを表示します。DECW\$VERSIONS.COM プロシージャは、DECW\$GET_IMAGE_VERSION.COM コマンド・プロシージャを使用してそれぞれのファイルのイメージ ID を取得します。

システムにインストールされている DECwindows イメージのバージョンを表示するには、次のコマンドを実行します。

```
$ @SYS$UPDATE:DECW$VERSIONS *
```

上記のコマンドを実行すると、次のようにイメージ ID (DW)、バージョン番号、およびイメージの作成日が表示されます。

```
DW V1.5-040312
```

上記の例は、DECwindows Motif クライアント (DW) のイメージのバージョンが V1.5 で、このイメージが 2004 年 3 月 12 日に作成されていることを示しています。

索引

A

- ASTLM パラメータ
インストールに必要なクォータ 6-8
- AUTHORIZE ユーティリティ
クォータを変更するのに使用 6-8
- AUTOGEN ユーティリティ
インストール用の準備 8-9
システム・パラメータの変更に使用 8-11
システムをリブート 8-11

B

- BIOLM パラメータ
インストールに必要なクォータ 6-8
- BYTLM パラメータ
インストールに必要なクォータ 6-8

D

- DECW\$COMPARE_VERSIONS.COM B-2
- DECW\$GET_IMAGE_VERSION.COM B-2
- DECW\$VERSIONS.COM B-2
- DECwindows Motif の起動 8-1
- DECwindows X11 Display Server
インストール 6-2
- DECwindows X11 ディスプレイ・サーバ
スタートアップのカスタマイズ 9-1
- DIOLM パラメータ

DIOLM パラメータ (続き)

- インストールに必要なクォータ 6-8

E

- ENQLM パラメータ
インストールに必要なクォータ 6-8

F

- FILLM パラメータ
インストールに必要なクォータ 6-8

I

- IVP
実行 8-2

L

- Low-Bandwidth X (LBX)
IVP サポート 8-4
選択 7-7

N

- New Desktop
選択 7-8, 8-8

P

PCSI

- DCL ヘルプの参照 7-2
 - インストール
 - TIS サポート 7-10
 - インストール
 - LBX サポートの選択 7-7
 - デバイス・サポート・ファイルの確認 7-13
 - プログラミング環境の確認 7-6
 - インストール・コマンド・プロセスの
実行 7-4
 - インストールに失敗した場合のメッセ
ージ 7-15
 - システム・ディスクのバックアッ
プ 7-1
 - デスクトップの選択 7-8
 - 問い合わせへの応答の確認 7-2
 - リリース・ノートの取り出し 7-3
- PCSI インストール
確認
- アプリケーションとランタイム・サポー
ト・ファイル 7-12
 - 言語バリエーションの表示 7-10
- POLYCENTER ソフトウェア・インストー
レーション・ユーティリティ
PCSI を参照

S

SYSGEN ユーティリティ

- インストール用の準備 8-9
- システム・パラメータ値のチェッ
ク 8-9

T

TIS

- インストール 7-10

ア

アカウントのクォータ

- クォータを参照
 - インストールに必要な 6-8
- 空きブロック
- 容量を調べる 6-9

イ

インストール後

- 作業
 - DECwindows Motif のカスタマイ
ズ 9-1
 - 問題の確認と報告 9-2
- インストール後の作業 8-1
 - DECwindows Motif の起動 8-1
 - IVP の実行 8-2
 - コンソールの選択 8-7
- インストールに必要な条件 6-7

オ

- オペレータ・ウィンドウ 8-7

カ

カスタマイズ

- インストール後のシステム 9-1

キ

起動

- DECwindows Motif 8-1

ク

クォータ

- 確認と変更 6-8
- グローバル・セクション
- 未使用のグローバル・セクションを参照
- グローバル・ページ
- 未使用のグローバル・ページを参照

ケ

- 言語バリエーション 7-10

コ

- コマンド・ファイル
 - バージョンの確認 B-2
- コンソール
 - シリアル 8-7
 - 代替 8-7
 - メイン 8-7
- コンポーネント
 - DECwindows X11 Display Server ... 6-2
 - DECwindows ネットワーク・トランスポートとベースシステムのサポート 6-2

サ

- サーバのスタートアップ
 - カスタマイズ 9-1
- サンプル・プログラム
 - 必要なディスク・スペース 6-9

シ

- システム
 - シャットダウン
 - ユーザへの通知 6-15
- システム・ジェネレーション・ユーティリティ
 - SYSGEN ユーティリティを参照
- システム・ディスク
 - DECwindows ベース・サポート・ファイルの追加 9-2
 - インストールするために必要な空きスペース 6-9
 - 調べる
 - 空きブロック数 6-9
 - バックアップ 7-1
- システムのシャットダウン
 - ユーザへの通知 6-15

- システムのチューニング 9-1
- システム・パラメータ
 - 再計算 8-11
 - 最低限必要 6-12
 - チェック
 - 値 8-9
 - 変更
 - AUTOGEN ユーティリティを使用 8-11
 - 値 8-11
 - 追加調整 8-11
- シリアル・コンソール 8-7

セ

- 設定する
 - ブックリーダ・ファイル保管 6-6

ソ

- ソフトウェア
 - 必要なオペレーティング・システム・バージョン 6-2

タ

- 代替コンソール
 - コンソールを参照

テ

- ディスク・スペース
 - 調べる
 - 空きブロック数 6-9
 - 容量 6-9
 - 必要な
 - コンポーネント毎の 6-9
- デスクトップ
 - 選択 7-8, 8-8
- デスクトップの選択 8-8

八

- バックアップ
 - システム・ディスクのバックアップ 6-14
- ハードウェア
 - DECwindows Motif によるサポート 6-2
- パラメータ
 - システム・パラメータを参照

ヒ

- 必要なメモリ容量 6-2
- 必要なライセンス 6-3

フ

- ファイル
 - DECwindows ファイルの追加 9-2
- ブックリーダー
 - 設定したファイルの保管 6-6
 - 設定済みのファイルの別のディレクトリへのコピー 6-6
- ブロック
 - 空きブロックを参照
- プログラミング
 - 環境
 - ディスク・スペースの条件 6-9
 - 保存 7-6
- プログラミング環境
 - OSF/Motif Release 1.1.3 6-5

へ

- ページ・ファイル・サイズ
 - 設定 8-10
- ベース・キット
 - 必要なディスク・スペース 6-9
- 変換イメージ・サポート
 - TIS を参照
 - 必要なディスク・スペース 6-9

ミ

- 未使用のグローバル・セクション
 - 計算 8-10
- 未使用のグローバル・ページ
 - 計算 8-10

メ

- メイン・コンソール 8-7

リ

- リリース・ノート
 - 参照 7-3

ロ

- ログアウト
 - ユーザへの通知 6-15

日本語 HP DECwindows Motif for OpenVMS
インストール・ガイド

2005年2月 発行

日本ヒューレット・パカード株式会社

〒140-8641 東京都品川区東品川 2-2-24 天王洲セントラルタワー

電話 (03)5463-6600 (大代表)
